

平成 22 年度 群馬県立館林美術館年報

2010.4 - 2011.3



Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

目次

・展覧会 p.3

A 展覧会一覧	p.3
B 企画展示記録	p.4
C 特別展示記録	p.31
D コレクション展示記録	p.38
E 彫刻家のアトリエ(別館)展示記録	p.47
F 観覧者数一覧表	p.48

・教育普及 p.49

A 講演会	p.49
B 作品解説会・ギャラリートーク・ギャラリーツアー	p.49
C ワークショップ	p.51
D 創作体験コーナー みんなのアトリエ	p.51
E たてび木曜レクチャー・学芸員による美術講座	p.52
F 学校連携その他	p.53
G 地域に開かれた美術館づくり	p.54
H 刊行物	p.57
I ボランティア	p.58
J 友の会	p.58

・所蔵資料 p.57

A 美術作品	p.59
B 図書資料その他	p.62

・関係者および職員名簿 p.63

展覧会

A 展覧会一覧

(1)企画展示

展示名	会期、会場	内容
「小室翠雲(1874-1945)ー館林に生まれ近代南画の大家にー」	4/24-6/6 展示室2-4	小室翠雲は明治7年館林生まれ、隣町・足利の田崎草雲(たざき・そうん/1815-1898)に入門して学び、中国の文人画に由来する日本の南画が衰退していた時期に、その代表者として活躍した。同時代に名声をとどろかせたこの大画家の作品を全国から集め、その画業を振り返る。
「つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」	6/26-9/5 展示室1-4	本展は作品の「もの」としての側面に光を当てます。コレクションを中心に油彩画、日本画、版画、写真、立体などの技法の基本を具体的に例示し、加えて各作品固有の制作過程を、エックス線写真、模型等を用いてビジュアルに解説し作品の印象を生み出す、技法や表現の秘密を探索する。
「両毛の美術館名品展ーこんな素敵なコレクションがあった。ー」	9/18-11/28 展示室2-4	群馬県の館林、太田、桐生、栃木県の足利、佐野などの各市や群馬県邑楽郡をふくむ両毛(りょうもう)と呼ばれる地域には、個性豊かな美術館や博物館が多く、それぞれに魅力的なコレクションを誇っている。本展ではその所蔵品を紹介し、両毛の美術文化を展望する。

(2)特別展示

展示名	会期、会場	内容
「群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎ー師、川上邦世とともに」	12/11-4/3 展示室2-4	中平四郎(1891-1949)は現在の群馬県大泉町に生まれた饅頭彫刻家である。21歳で上京して川上冬崖(かわかみとうがい/1827-81)の孫にあたる木彫家・川上邦世(かわかみくによ/1886-1925)の弟子になり、日本美術院試作展で入選後、平櫛田中(ひらぐしでんちゅう/1872-1979)に弟子入りし、牛を多く題材にして作品を制作した。「牛の平四郎」の歩みを紹介する。

(3)コレクション展示

展示名	会期、会場	内容
近現代の彫刻Ⅰ	4/24-6/6 展示室1	フランソワ・ポンボン、和南城孝志など、近現代の彫刻を展示。
油彩・西洋の版画	4/24-6/6 展示室4	モイーズ・キスリング、山口薫などの油彩、マルク・シャガール、パブロ・ピカソなどの版画を展示。
近現代の彫刻Ⅱ	6/26-9/5 展示室1	フランソワ・ポンボン、パーバラ・ヘップワースなど、近現代の彫刻を展示。
油彩・藤牧義夫の版画	6/26-9/5 展示室2-4	コンスタン・トロワイヨン、安井曾太郎などの油彩、藤牧義夫、清宮質文などの版画を展示。
近現代の彫刻Ⅲ	9/18-11/28 展示室1	フランソワ・ポンボン、ヘンリー・ムーアなど、近現代の彫刻を展示。
油彩・現代美術	9/18-11/28 展示室2	猪熊弦一郎、香月泰男などの油彩、戸谷成雄、フランソワ・ラフランカなどの彫刻、版画を展示。
近現代の彫刻Ⅳ	12/11-4/3 展示室1	フランソワ・ポンボン、チャール・オルロフなど近現代の彫刻を展示。
油彩その他	12/11-4/3 展示室2	小杉放菴、金山平三などの油彩、三輪途道の彫刻を展示。

※3/12及び3/15は、東日本大震災、計画停電の影響により臨時休館した。

1. 小室翠雲（1874－1945）展－館林に生まれ近代南画の大家に－

会期 平成 22 年 4 月 24 日（土）－6 月 6 日（日）
 前期 4 月 24 日（土）－5 月 16 日（日）
 後期 5 月 18 日（火）－6 月 6 日（日）
 会場 展示室 2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館
 観覧料 一般 800(640)円 大高生 400(320)円
 () 内は、20 名以上の団体割引料金

日本画家・小室翠雲は明治 7 年、当時は栃木県であった現在の群馬県館林市に、呉服商を営む父・小室牧三郎と母・ふきの長男として生まれ、本名を貞次郎という。10 代後半には足利の南画家・田崎草雲(1815-1898)に学んで頭角を現し、草雲の父の号であった「翠雲」を与えられた。

翠雲が当時学んだのは中国の文人画に由来する日本の「南画」であり、翠雲の生きた時代、南画に対する社会の風向きは必ずしも良い時ばかりではなかったが、南画家として徐々に日本中に知られる存在となり、時代を代表する日本画家の一人にまでなっていく。

30 歳を超えるころから日本美術協会への出品などにより全国的名声を高め、文展に反対する正派同志会副幹事長としての活動を経て、文展審査員に選ばれた。1921(大正 10)年には朝鮮・中国への旅行に加えて、同年結成された日本南画院への参加を請われる。同院に参加した後は主要なメンバーとして活躍した。

なお 1917(大正 6)年ごろから長興山荘という箱根の別荘を使い、これにちなんで「長興山人」などと号していたが、1939(昭和 14)年には熱海に「佳麗庵」という新しい山荘を新築し、晩年には作品にもその名が記されることが多くなった。

1944(昭和 19)年、翠雲は帝室技芸員にも選ばれる大変な栄誉を得ている。ところが終戦の年である昭和 20 年に亡くなったこともあり、戦前の名声に比べて現在では知る人も少なくなっているのも事実である。そうしたなか、翠雲の生まれ故郷館林に位置する当館に、全国から名作を集めた。日本近代絵画史に足跡が深く刻まれたこの画家の業績をふりかえる、大規模な回顧展となった。



ポスター



図録

出品目録

第1章: 明治の翠雲(1874-1912)

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	前期	後期
1-1	翠湖号《日出鶴図》	1888(明治21)頃－ 1893(明治26)頃	紙本着色・扁額	25.5×98.5	館林市立資料館寄託	○	○
1-2	翠湖号《花鳥図》	1888(明治21)頃－ 1893(明治26)頃	紙本着色・扁額	25.6×98.4	館林市立資料館寄託	○	○
1-3	白雲紅樹図	1892(明治25)	絹本着色・軸	130.8×50.6	館林市立資料館	○	○
1-4	達磨図	1900(明治33)	紙本墨画淡彩・軸	129.7×58.6	佐野市立吉澤記念美術館	○	○
1-5	山水図	1902(明治35)	絹本淡彩・軸	139.3×85.3	ギャラリー鉄斎堂	○	○
1-6	花鳥図	1902(明治35)	絹本着色・軸	38.6×62.6	常光寺	○	○
1-7	間庭図	1904(明治37)	絹本着色・軸	152.3×70.3	個人蔵	○	○
1-8	溪山幽邃図	1905(明治38)	絹本着色・軸	153.5×70.4	館林市立資料館	○	○
1-9	秋山暮靄図	1908(明治41)	絹本着色・軸	132.6×56.0	館林市立資料館	○	
1-10	鯉の図	1908(明治41)	紙本墨画・軸	130.8×49.2	常光寺	○	○
1-11	秋山覓句図	1908(明治41)	絹本着色・軸	195.4×85.8	館林市立資料館	○	
1-12	水墨山人觀瀑図	1908(明治41)	絹本墨画・軸	182.8×84.6	館林市立資料館	○	
1-13	金碧樓閣山水	1909(明治42)	絹本着色・軸	173.5×57.0	館林市立資料館	○	○
1-14	乾坤第一峰	1910(明治43)	絹本着色・軸	115.0×201.0	群馬県立近代美術館		○
1-15	飛瀑観音図	1911(明治44)	絹本着色・軸	139.6×41.3	ギャラリー鉄斎堂	○	○

第2章: 大正の翠雲(1912-1926)

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	前期	後期
2-1	廬山溪嵐図	1912 (明治45/大正元)	絹本金地墨画・二曲一双屏風	180.0×178.0	高崎市タワー美術館	○	○
2-2	青山白雲	1913(大正2)	絹本墨画淡彩・軸	146.4×41.5	個人蔵	○	
2-3	古木寒鴉図	1915(大正4)	紙本墨画・軸	138.7×33.8	個人蔵		○
2-4	独領一濱秋	1915(大正5)	絹本着色・軸	146.2×56.5	館林市立資料館	○	
2-5	秋荷群蟲図	1916(大正5)	絹本着色・軸	139.9×42.3	館林市立資料館		○
2-6	茅屋望溪図	1917(大正6)	絹本着色・軸	155.1×41.3	個人蔵	○	
2-7	寒林幽居図	1918(大正7)	絹本墨画着色・軸	169.4×50.8	個人蔵		○
2-8	青山白雲	1918(大正7)	絹本金地着色・六曲一双屏風	各171.6×373.8	美術かわぐち		○
2-9	採蓮触禽図	1919(大正8)	絹本着色・軸	170.4×50.1	群馬県立近代美術館	○	○
2-10	春雨蕭々	1920(大正9)	絹本着色・六曲一双屏風	各168.0×373.2	群馬県立近代美術館	○	○
2-11	夜半潮来図	1921(大正10)	絹本着色・軸	144.5×42.3	個人蔵		○
2-12	海寧觀潮	1922(大正11)	紙本墨画淡彩・軸	120.0×240.0	山種美術館	○	
2-13	《海寧觀潮》下絵	1922(大正11)	紙本墨画・四曲一隻屏風	118.0×134.5	個人蔵	○	○
2-14	墮金釵図	1922(大正11)	紙本着色・軸	174.0×82.0	栃木県立美術館	○	○
2-15	秋景山水図屏風	1922(大正11)	紙本金地墨画・六曲一双屏風	171.7×387.0	常光寺	○	
2-16	山水図屏風	1923(大正12)	絹本金地墨画淡彩・六曲一隻屏風	168.8×373.8	群馬県立近代美術館		○
2-17	夏冬山水図屏風	1923(大正12)	絹本墨画淡彩・六曲一双屏風	各167.0×360.0	群馬県立館林美術館	○	
2-18	春雨蕭々	1923(大正12)	絹本淡彩・軸	126×33.0	三重県立美術館	○	
2-19	藤花遊蜂 秋蘭芙蓉	1924(大正13)	絹本着色・軸、双幅	各128×32.8	三重県立美術館	○	
2-20	名花十友	1924(大正13)	紙本墨画	72.1×273.4	館林市立資料館	○	○
2-21	蘭亭曲水	1925(大正14)	絹本着色・軸	143.0×32.7	個人蔵	○	○
2-22	双鳳呈瑞図	1925(大正14)	絹本着色・軸	177×57.1	三重県立美術館	○	○
2-23	仙陰聴泉図	1925(大正15)	紙本墨画淡彩・軸	167.8×44.7	館林市立資料館	○	○
2-24	山水図屏風	1934(昭和9)年	紙本墨画淡彩・六曲一双屏風	各図140.5×54.2	館林市立資料館		○

第3章:昭和初期の翠雲(1926-1939)

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	前期	後期
3-1	山亭聴鶴図	1926 (大正15/昭和元)	絹本墨画淡彩・軸	136.0×28.8	常光寺	○	
3-2	長江萬里図	1926 (大正15/昭和元)	紙本墨画・軸	39.4×60.3	個人蔵	○	
3-3	岳陽大観図	1928(昭和3)	絹本著色・軸	139.0×41.8	個人蔵		○
3-4	竹林山水図	1929(昭和4)	紙本墨画・軸	145.3×39.4	個人蔵	○	
3-5	蒼松壽古図・ 梅花双喜図	1930(昭和5)	絹本彩色・二曲一双屏風	各116.7×168.0	群馬県立館林美術館	右隻	左隻
3-6	登嶽所見十二題 (14幅対)	1928(昭和3) (6、13、14を除く)	紙本墨画淡彩・軸	各45.0×74.0	群馬県立近代美術館		
	1. 馬返	1928(昭和3)				4月24日(土)～ 5月9日(日)	
	2. 白雲	1928(昭和3)					
	3. 虹挂	1928(昭和3)					
	4. 初霜	1928(昭和3)					
	5. 雲海	1928(昭和3)				5月11日(火)～ 5月16日(日)	
	6. 絶嶺	制作年不詳					
	7. 月影	1928(昭和3)					
	8. 奥宮	1928(昭和3)					
	9. 万年雪	1928(昭和3)				5月18日(火)～ 5月27日(木)	
	10. 石室	1928(昭和3)					
	11. 太郎坊	1928(昭和3)				5月28日(金)～ 6月6日(日)	
	12. 御殿場	1928(昭和3)					
	13. 登攀帝座	制作年不詳				5月18日(火)～ 5月27日(木)	
	14. 極東偉観	制作年不詳				5月28日(金)～ 6月6日(日)	
3-7	紫綬金章図	1928(昭和3)	絹本著色・軸	44.3×69.0	常光寺		○
3-8	長興山荘図	1929(昭和4)	紙本墨画淡彩・軸	121.3×180.5	群馬県立館林美術館	○	○
3-9	ベルリンの女性像	1930(昭和5)	紙本墨画・額	50.6×22.7	館林市立資料館	○	○
3-10	昆虫図	1930(昭和5)	紙本淡彩・軸	41.2×59.4	個人蔵	○	○
3-11	瑞西所見	1931(昭和6)	紙本著色・軸	67.5×112.7	栃木県立美術館	○	
3-12	瑞西所見	1931(昭和6)	紙本墨画淡彩・軸	132.0×55.0	足利市立美術館	○	○
3-13	金城游興図	1932(昭和7)	紙本著色・軸	40.2×60.5	個人蔵		○
3-14	岳陽大観図	1934(昭和9)	紙本淡彩・軸	130.5×57.4	群馬県立歴史博物館	○	○
3-15	三枝禮	1936(昭和11)	紙本著色・軸	116.0×145.0	群馬県立近代美術館		○
3-16	白乾坤	1936(昭和11)	紙本著色・六曲一双屏風	204×360	日本藝術院	○	○
3-17	西畴(茄子)図	1936(昭和11)頃	絹本著色・軸	46.5×58.1	個人蔵	○	○
3-18	溪澗棲雉圖	1937(昭和12)頃	紙本淡彩・軸	153.6×55.6	個人蔵	○	○
3-19	賦色紫桐丹鳳図	1939(昭和14)～ 1945(昭和20)	絹本著色・軸	159.5×72.2	栃木県立美術館		○
3-20	月下帰漁図	制作年不詳	絹本墨画・軸	143.3×42.4	栃木県立美術館	○	
3-21	柳桃山水図	制作年不詳	紙本墨画淡彩・軸	46.0×58.7	栃木県立美術館		○
3-22	雪陵啼鶴図	制作年不詳	絹本墨画・軸	47.9×59.5	栃木県立美術館寄託	○	
3-23	一望白搖曳図	制作年不詳	紙本墨画・軸	56.4×82.3	栃木県立美術館寄託		○
3-24	雪裏梅花図	1919(大正8)	絹本著色・軸	143×43.5	三重県立美術館	○	○
3-25	山邨積雪図	制作年不詳	絹本墨画淡彩・軸	143×50.2	三重県立美術館		○
3-26	春庭幽艶図 老圃秋	1919(大正8)	絹本著色・軸・双幅	各145×41.7	三重県立美術館	○	○
3-27	春雨図 採蓮図	1920(大正9)	絹本著色・軸・双幅	各139×27.2	三重県立美術館		○

第4章:大本山永平寺と豊川閣妙巖寺(豊川稲荷)

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	前期	後期
4-1	振衣千仞岡図	1929(昭和4)頃	紙本著色・軸	105.5×121.6	大本山永平寺	○	○
4-2	濯足万里流図	1929(昭和4)	紙本墨画淡彩・軸	254.6×147.8	大本山永平寺	○	○
4-3	長興山荘図	1929(昭和4)	紙本墨画・軸	180.5×123.5	大本山永平寺	○	○
4-4	翠雲室	1930(昭和5)頃	紙本墨書・扁額	39.9×141.8	大本山永平寺	○	○
4-5	鉄拐山人図	1930(昭和5)頃	紙本墨画淡彩・額	二面各58.5×40.5	大本山永平寺	○	○
4-6	鉄拐山人図	1930(昭和5)頃	紙本墨画・額	四面各23.0×41.3	大本山永平寺	○	○

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	前期	後期
4-7	一片風帆一桁山	1930(昭和5)頃	紙本墨画・額	23.5×73.5	大本山永平寺	○	○
4-8	富士図	制作年不詳	紙本墨画・軸	173.6×261.7	大本山永平寺	○	○
4-9	書画屏風(四君子図)	1929(昭和4)	紙本墨画・ 六曲一双屏風	各扇133.0×45.6	大本山永平寺	右隻	左隻
4-10	賦色春風駘蕩図	1928(昭和3)	紙本著色・軸	246.0×92.2	豊川閣妙厳寺(豊川稲荷)	○	○
4-11	浅絳四季山水図	1928(昭和3)	紙本墨画淡彩・軸、三幅	各134.0×33.6	豊川閣妙厳寺(豊川稲荷)		○
4-12	長興山荘	1929(昭和4)	紙本著色・軸	133.3×26.4	豊川閣妙厳寺(豊川稲荷)		○
4-13	宝珠	1932(昭和7)	紙本墨画・軸、双幅	各172.4×92.0	豊川閣妙厳寺(豊川稲荷)	○	
4-14	宝船七福神	1935(昭和10)	紙本著色・軸	134.0×33.0	豊川閣妙厳寺(豊川稲荷)	○	○
4-15	虎上の豊干和尚	1938(昭和13)	紙本墨画・軸	36.1×45.2	豊川閣妙厳寺(豊川稲荷)		○

第5章:佳麗菴時代の翠雲(1939-1945)

No.	作品名	制作年	技法材質・形状	サイズ(cm)	所蔵	前期	後期
5-1	競芳	1942(昭和17)	絹本彩色・額	65.0×72.6	東京国立近代美術館	～5月30日(日)	
5-2	画帖(一)	1942/43 (昭和17/18)	紙本墨画彩色・画帖(1面)	30.0×39.4	東京国立近代美術館	○	
5-3	下浦漁游涛巻	1942(昭和17)	紙本著色・画卷	23.5×133.7	佐野市立吉澤記念美術館寄託	○	○
5-4	梅雀図	1942(昭和17)－ 1945(昭和20)	紙本著色・額	52.0×57.8	常光寺	○	○
5-5	牡丹猫双図	1939(昭和14)－ 1945(昭和20)	絹本著色・軸	48.0×57.6	常光寺	○	○
5-6	金碧海波旭日図	1942(昭和17)－ 1945(昭和20)	絹本著色・軸	139.0×42.3	個人蔵	○	○
5-7	魚蝦満厨図	1942(昭和17)－ 1945(昭和20)	紙本著色・軸	49.2×57.2	栃木県立美術館	○	○
5-8	孔雀図	制作年不詳	絹本著色・軸	132.9×71.3	茂林寺	○	○
参考 出品	花鳥図(伝沈南蘋作)	清時代	紙本著色・軸	115.8×37.3	茂林寺	○	○
参考 出品	鴛鴦図(伝沈南蘋作)	清時代	絹本著色・軸	147.5×77.2	茂林寺	○	○

◎印刷物・会場作成物

・図録 B5(25.7×19cm) 96 頁

内容:

ごあいさつ(館長 染谷滋)

謝辞

「小室翠雲に連なる関東南画の系譜」(東京大学名誉教授、秋田県立近代美術館館長 河野元昭)

第1章 明治の翠雲(1874-1912)―田崎草雲に学び南画家となり文展反対運動へ―

「小室翠雲筆「格天井」天井画と常光寺」

第2章 大正の翠雲(1912-1926)―文展審査員、朝鮮・中国旅行、日本南画院への参画―

第3章 昭和初期の翠雲(1926-1939)―崇文叢書刊行、ヨーロッパ旅行、南画鑑賞会―

第4章 大本山永平寺と豊川閣妙厳寺(豊川稲荷)―高橋竹迷和尚が結んだ曹洞宗の名刹との関係―

◎大本山永平寺と小室翠雲

◎豊川閣妙厳寺(豊川稲荷)と小室翠雲

第5章 「佳麗菴」時代の翠雲(1839-1945)―心印画塾結成、大東南宗院設立、帝室技芸員―

「小室翠雲《孔雀図》と茂林寺」

「南画家」小室翠雲―大正年間後期を中心として」(東京大学東洋文化研究所准教授 板倉聖哲)

「小室翠雲の南画振興とその影響―近代南画から現代水墨画へ―」(大阪国際大学専任講師 村田隆志)

「翠雲が過ごした館林・翠雲を支えた人びと」(館林市史編さんセンター 岡屋紀子)

「小室翠雲と群馬美術協会」(館長 染谷滋)

「小室翠雲用印刻者解説」(篆刻研究家 伊藤明)

落款

出品作文替文・款記釈文 村田隆志 編

出品作品リスト

小室翠雲関係略年譜

主要参考文献

カタログ編集、章解説・コラム執筆:中田宏明(主任(学芸員))

カタログ編集:松下由里(学芸係長)

発行:群馬県立館林美術館

デザイン・制作:川野直樹、田邊直子(美術出版社)

・ポスター B2

・チラシ A4

・解説パネル・写真パネル

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に＊)

[新聞等]

・朝日ぐんま

5.21

「小室翠雲展(1874-1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―地元大画家のすごさ知る好機」＊

・朝日新聞

4.28

「群馬県立館林美術館 小室翠雲(1874-1945)展」＜沿線美術館情報＞

5.19

「小室翠雲展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＜群馬・マリオン＞

・太田タイムス

4.17

「小室翠雲の作品展示 県立館林美術館に」＊

・ぐんま経済新聞

4.22

「日本画家 小室翠雲展 24 日から県立館林美術館」

・下野新聞

4.18

「小室翠雲の画業振り返る 24 日から館林美術館」＊

・上毛新聞

4.9、4.30、5.14、6.4

「県立館林美術館(館林市日向町)「小室翠雲展(1874-1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＜気になる情報 ぱれっと＞

4.24、5.18

「館林美術館企画展示 「小室翠雲展(1874～1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＜ぐんまちゃんの掲示板＞

4.25

「翠雲の画業たどる 地元出身、南画の大家 時代追い名作 90 点 館林美術館」＊

5.8

「館林美術館企画展示 「小室翠雲展(1874～1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」 作品解説会」＜ぐんまちゃんの掲示板＞

5.22

「県立館林美術館で回顧展 館林出身の南画家 小室翠雲 再興の旗手も潮流に乗れず 再評価へ全体像紹介」＊

・上毛新聞シャトル(館林ニュース)

4.9、4.16、4.19、4.23、4.26、4.30、5.3、5.7、5.10、5.14、5.21、5.24、5.28、5.31、6.4

「企画展示「小室翠雲展～館林に生まれ近代南画の大家に」＜出かけてみませんか情報 BOX＞

4.19、4.23、4.26、5.31

「学芸員による作品解説会」＜出かけてみませんか情報 BOX＞

4.24

「企画展示「小室翠雲(1874～1945)展～館林に生まれ近代南画の大家に」本日スタート！ 郷土の巨匠 90 点で回顧」＜GMAT だより＞＊

4.30
「企画展示記念講演会「谷文晁と渡辺崋山～田崎草雲・小室翠雲の尊敬と憧憬」＜出かけてみませんか情報 BOX＞

5.15
「企画展示「小室翠雲(1874～1945)展」ブックガイド 翠雲の画業 全貌を紹介」＜GMAT だより＞＊

5.22
「「小室翠雲(1874～1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」展示替えになりました！ 屏風など 20 点新たに」＜GMAT だより＞＊

6.5
「企画展示「小室翠雲(1874～1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」あす終了！ 中国「文人」へのあこがれ」＜GMAT だより＞＊

・東京新聞

5.13
「群馬県立館林美術館 小室翠雲展―館林に生まれ近代南画の大家に―（後期）」＜美術・博物館ガイド＞

・両毛新聞

4.22
「小室翠雲展 群馬県立館林美術館」＜手軽に行けるカルチャードライブ 近県美術館、博物館だより＞＊

[定期刊行物]

・ギャラリー

4、5、6 月号
「群馬県立館林美術館 小室翠雲(1874-1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＜美術館スケジュール＞

・グラフぐんま

5 月号
「“自然と人間”テーマに展示 県立館林美術館 館林出身の南画の大家を紹介」＜Gallery＞＊、「館林美術館(館林市日向町) 企画展示「小室翠雲(1874-1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＜イベントガイド＞

・ぐんま県民カレッジ

平成 22 年度
「企画展示 小室翠雲(1874～1945)展」、「企画展示「小室翠雲(1874～1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」作品解説会」＜講座一覧＞

・ぐんま広報

4 月号
「館林美術館企画展示「小室翠雲展―館林に生まれ近代南画の大家に―」

・ぐんま情報誌 からっ風

3・4 月号
「群馬県立館林美術館 企画展示「小室翠雲(1874-1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」(予定)」

5・6 月号

「群馬県立館林美術館 企画展示「小室翠雲(1874-1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」

・新美術新聞

3.11 (No.1210)
「小室翠雲(1874-1945)展」＜展覧会カレンダー＞

5.21 (No.1216)
「小室翠雲(1874-1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＊

・帝國芸術新聞

第 356、第 357 号
「群馬県立館林美術館 小室翠雲(1874-1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＜全国のギャラリー紹介＞

・地域創造レター

5 月号
「群馬県立館林美術館 小室翠雲(1874-1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＜地域通信―今月の情報＞

・博物館研究

Vol.45 No.4、No.5、No.6
「群馬県立館林美術館 小室翠雲(1874-1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＜イベントカレンダー＞

・美術の窓

2 月号
「小室翠雲展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＜今年必見の展覧会 BEST200＞

5 月号
「小室翠雲(1874-1945)展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＜展覧会のススメ＞

5、6 月号
「群馬県立館林 小室翠雲展」＜展覧会情報＞

・まいにち

4、5 月号
「群馬県館林美術館(館林市) 小室翠雲展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＜イベント・インフォメーション＞

・渡良瀬通信

4、5、6 月号
「群馬県館林美術館(館林市) 小室翠雲展―館林に生まれ近代南画の大家に―」＜渡良瀬インフォメーション＞

5 月号
「館林に生まれ近代南画の大家に「小室翠雲展」」＜渡良瀬インフォメーション TOPICS＞

◎関連事業

・記念講演会

5.2
「谷文晁と渡辺崋山―田崎草雲・小室翠雲の尊敬と憧憬―」
講師：河野元昭氏(東京大学名誉教授)



展示室2



展示室2



展示室3



展示室4

2. つくりかたから見る美術 ―コレクション徹底解剖！―

会期 平成22年6月26日(土)～9月5日(日)
 会場 展示室1、2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館
 助成 芸術文化振興基金
 観覧料 一般500(400)円 大高生250(200)円
 ()内は、20名以上の団体割引料金

美術作品の多くは、その制作のプロセスにおいて、作家が漠然としたイメージと具体的なものとしての画材や技法との間を行ったり来たりしながら作り上げるものである。

一つ一つの作品には作家独自の工夫が凝らされている場合も多いが、作品の制作の実際を知るための第一歩となる、多くの作家に共有される基礎となる画材や技法の部分についても知られていないことが多く、それが分かると作品がまた全く違ったものとして見えてくる。

本展は、当館収蔵品を中心に他の美術館から出品される作品、資料を加えて構成した。絵画(油彩画、日本画)、版画(木版画、銅版画、石版画、シルクスクリーン)、写真、立体作品などのジャンルごとに、画材や制作モデルなどによって各技法の基礎的な制作のプロセスをひもといた。さらに、トピックとなる作品については、その作品固有の制作の過程を、下図、エックス線写真、制作の途中段階を想定した模型等を用いて分析した。

技法の面から切り込むアート鑑賞の入門的な展覧会となった。



ポスター



図録

出品目録

前期展示:2010年6月26日(土)―8月1日(日) 後期展示:2010年8月3日(火)―9月5日(日)

第1期:6月26日(土)―7月19日(月)、第2期:7月21日(水)―8月1日(日)、

第3期:8月3日(火)―8月22日(日)、第4期:8月24日(火)―9月5日(日)

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	サイズ(cm)	所蔵	前 期	後 期
I 1	コンスタン・トロワイヨン	風景	19世紀中頃	油彩/板	26 × 46	群馬県立近代美術館	○	○
I 2	カミーユ・ピサロ	エラニーの教会と農園	1884	油彩/カンヴァス	54.5 × 63	群馬県立近代美術館	○	○
I 3	ベン・ニコルソン	1947(コンポジション)	1947	油彩、鉛筆、コテ鉛筆/板	45.7 × 45.7	群馬県立館林美術館	○	○
I 4	モイーズ・キスリング	青い花瓶のミモザ	1948	油彩/カンヴァス	62 × 74	群馬県立館林美術館	○	○
I 5	安井 曾太郎	足を洗う女	1913	油彩/カンヴァス	116 × 88.7	群馬県立近代美術館	○	○
I 6	小杉 放菴	秋果童子	1926	油彩/カンヴァス	71.4 × 51.5	群馬県立館林美術館	○	○
I 7	小糸 源太郎	けしの花	1933	油彩/カンヴァス	114.2 × 77.2	群馬県立館林美術館	○	○
I 8	山口 薫	水田を拓く	1956	油彩/カンヴァス	100 × 80.5	群馬県立館林美術館	○	○
I 9	森 芳雄	母子像	1979	油彩/カンヴァス	130 × 97.5	群馬県立館林美術館	○	○
I 10	宇佐美 圭司	飛ぶ島 No.1 Flying Island (Laputa)	1985	油彩/カンヴァス	218.2 × 290.9	群馬県立館林美術館	○	○
I 11	伊庭 靖子	Untitled	1995	油彩/カンヴァス	162 × 123	群馬県立館林美術館寄託	○	
I 12	伊庭 靖子	Untitled	1995	油彩/カンヴァス	162 × 123	群馬県立館林美術館寄託	○	
I 13	伊庭 靖子	Untitled	1998	油彩/カンヴァス	183 × 393	群馬県立館林美術館	○	○
I 14	伊庭 靖子	Untitled	2001	油彩/カンヴァス	180 × 180	群馬県立館林美術館寄託	○	○
I 15	日高 理恵子	空との距離Ⅲ	2004	岩絵具/麻紙	200×200、 150×150、 170×170	群馬県立館林美術館	○	○
I 16	金田 実生	夜が少しづつ降りる	2005	油彩/紙	154 × 165	群馬県立館林美術館	○	○
II 1	酒井 三良	梨畑	1923	絹本彩色/軸	82.5 × 101.2	群馬県立館林美術館	○	
II 2	福田 元子	夕映え	1943	紙本彩色/額	173.4 × 107.8	群馬県立館林美術館		第3期
特別出品	岸浪百草居	芭蕉	1928	絹本彩色/軸	145.5 × 90.4	群馬県立館林美術館		第4期
III 1	パウル・クレー	子どもたち	1929	水彩/紙	27.5 × 33.5	群馬県立館林美術館	○	
III 2	猪熊 弦一郎	馬と鳥	1955	グワッシュ/紙	59.5 × 42.5	群馬県立館林美術館	○	
III 3	鶴岡 政男	幼虫	1968	バステル/紙	26 × 36.5	群馬県立館林美術館	○	
III 4	鶴岡 政男	太陽	1968頃	バステル/紙	27 × 38.3	群馬県立館林美術館	○	
IV 1	1 トマス・ビューイック	四足獣概説	1790初版	木口木版/紙	21.3 × 14.2	町田市立国際版画美術館	○	○
IV 2	2	四足獣概説	1800第4版	木口木版/紙	21.4 × 12.8	群馬県立館林美術館	○	○
IV 3	3	ヴィニエット	刷り:1970		4.5 × 8.5	町田市立国際版画美術館	○	
IV 4	4	雄シカ、またはレッド・ディア p135	刷り:1970		8.5 × 8.5	町田市立国際版画美術館	○	
IV 5	5	野生のイノシシ p160	刷り:1970		5.4 × 7.3	町田市立国際版画美術館	○	
IV 6	6	ヴィニエット p230	刷り:1970		4.5 × 8.5	町田市立国際版画美術館	○	
IV 7	7	ヴィニエット 292	刷り:1970		4.5 × 8.2	町田市立国際版画美術館	○	
IV 8	8	雑種のキツネ p308	刷り:1970		4.6 × 8.5	町田市立国際版画美術館	○	
IV 9	9	ヴィニエット p312	刷り:1970		5.5 × 7.7	町田市立国際版画美術館	○	
IV 10	10	ニュー・サウス・ウェールズ・ウルフ p319	刷り:1970		5.4 × 8.1	町田市立国際版画美術館	○	
IV 11	11	ヴィニエット p323	刷り:1970		7.3 × 8.5	町田市立国際版画美術館	○	
IV 12	12	アイリッシュ・グレイハウンド p340	刷り:1970		7.5 × 8.5	町田市立国際版画美術館	○	
IV 13	13	カワウソ p490	刷り:1970		4.5 × 8.1	町田市立国際版画美術館	○	
IV 14	14	ヴィニエット p522	刷り:1970		4.5 × 8.1	町田市立国際版画美術館	○	
IV 2	ラウル・デュフィ	ギョーム・アポリネール 動物詩集、あるいはオルフェウスのお供たち	1911	木版/紙	32.5 × 25.5	群馬県立館林美術館		
	1	2オルフェウス					○	
特別出品		3馬					○	
特別出品		15オルフェウス					○	
		32クジャク					○	
	3	マルク・シャガール ポエム	1962～ 1967(1968刊)	木版/紙	32.2 × 24.7	群馬県立館林美術館		
	1	I					○	
	2	II					○	
特別出品		VI					○	
特別出品		X					○	

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	サイズ(cm)	所蔵	前後期
IV 4	藤牧 義夫	自画像	1934頃	木版、手彩色/紙	17.8 × 12.6	群馬県立館林美術館	○
IV 5		朝(自画像)	1932	木版/紙	13 × 11.2	群馬県立館林美術館	○
IV 6		しねま	1932	木版、手彩色/紙	15.3 × 11.4	群馬県立館林美術館	○
IV 7		島のちいさん	1933	木版、手彩色/紙	15.1 × 10.2	群馬県立館林美術館	○
IV 8		うらまち	1935	木版/紙	15 × 12	群馬県立館林美術館	○
IV 9		彼岸	1933	木版/紙	12.7 × 15.8	群馬県立館林美術館	○
IV 10		まくら橋	1934	木版・手彩色/紙	12.2 × 9.2	群馬県立館林美術館	○
IV 11		城沼の冬	1933	木版/紙	11.2 × 14	群馬県立館林美術館	○
特別出品		年賀状(昭和5年)	1929	木版/紙	14.2 × 9.3	群馬県立館林美術館	○
特別出品		年賀状(昭和9年)	1933	木版・手彩色/紙	13.9 × 9.1	群馬県立館林美術館	○
IV 12	清宮 質文	九月の海辺	1970	木版/紙	13.4 × 23.4	群馬県立館林美術館寄託	○
13		夕日のとり	1985	木版/紙	7.8 × 16	群馬県立館林美術館寄託	○
IV 14	柄澤 齊	樹々の家族	2002～2003 刷り:2004	木版/紙	19 × 22	群馬県立館林美術館	
	1	1 樹々の家族					○
	2	18 雨あがり					○
	3	20 黒猫					○
特別出品		27 たまむし					○
	4	31 水辺					○
特別出品		43 環					○
特別出品		50 月日星					○
特別出品		59 脈					○
IV 15		R. J. ソーントン フローラの神殿				町田市立国際版画美術館	
	1 ベザー画、 ウオード刻	1 スノードロップ	1804	スティップル・エンブレイヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	48 × 36.6		第1期
	2 ベザー画、 ヘルメス刻	2 ペルシア・シクラメン	1804	スティップル・エンブレイヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	48.4 × 40.8		第1期
	3 エドワーズ画、 ワーナー刻	3 ヒヤシンス	1801	スティップル・エンブレイヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	54.6 × 43.5		第1期
	4 ソーントン画、 アーロム刻	4 パラ	1805	スティップル・エンブレイヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	48.4 × 37.3		第1期
	5 ヘンダーソン画、 コールドウォール 刻	5 カーネーション	1803	スティップル・エンブレイヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	40 × 52.2		第1期
	6 ヘンダーソン画、 ルイス・ホブウッド 刻	6 オーリキュラ	1803	スティップル・エンブレイヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	46.8 × 36		第1期
	7 ライナグル画、 アーロム刻	7 チューリップ	1808	メゾチント(多色)、一部手彩 色	48 × 36		第1期
	8 ヘンダーソン画、 クーパー刻	8 ストレリチア (ゴクラクチョウカ)	1804	スティップル・エンブレイヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色	44.6 × 35.5		第2期
	9 ライナグル画、 メドランド刻	9 アロエ アオノリュウゼツラ ン	1798	スティップル・エンブレイヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	44 × 36.2		第2期
	10 ヘンダーソン画、 コールドウォール 刻	10 ゲットウ	1801	スティップル・エンブレイヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	51.8 × 38.8		第2期
	11 ライナグルおよび ベザー画、 ダンカートン刻	11 夜の女王 ヨルノジョオウ	1800	メゾチント(多色)、一部手彩 色/紙	48.6 × 36.4		第2期
	12 ライナグル画、 コールドウォール 刻	12 ベゴニア	1800	スティップル・エンブレイヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	51.6 × 38.2		第2期
	13 ライナグル画、 スタドラー刻	13 ベニゴウカン	1799	スティップル・エンブレイヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	47.2 × 36		第2期

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	サイズ(cm)	所蔵	前 後 期 期
IV 15	14 ライナグル画、 コールドウォール 刻	14 ブルー・パッション・フラ ワー(トケイソウ)	1800	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	51.4 × 38.4	町田市立国際版画美術館	第2期
	15 ヘンダーソン画、	15 ウィングド・パッション・フ ラワー	1902	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	45.4 × 36.2		第3期
	16 ヘンダーソン画、 ホブウッド刻	16 クアドランギュラー・パッ ション・フラワー	1802	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	55.2 × 40.6		第3期
	17 ヘンダーソン画、 スタドラー刻	17 白ユリ	1800	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	53.1 × 39		第3期
	18 ライナグル画、 アールム刻	18 カナダユリ	1799	メゾチント(多色)、一部手彩 色/紙	48 × 36		第3期
	19 ヘンダーソン画、 ウォード刻	19 ドラゴン・アルム	1801	メゾチント(多色)、一部手彩色/紙	47.4 × 35.2		第3期
	20 ヘンダーソン画、 スタドラー刻	20 スタペリア	1801	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	52.2 × 40.2		第3期
	21 ライナグル画、 クーパー刻	21 ピッチャー・プラント	1803	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	44.7 × 35.8		第3期
	22 ヘンダーソン画、 コールドウォール 刻	22 ウスイロ・シャクナゲ	1802	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	52.8 × 40.2		第4期
	23 ヘンダーソン画、 ワーナー刻	23 アメリカン・カウスリップ	1801	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	44.8 × 35.8		第4期
	24 ライナグル画、 コールドウォール 刻	24 ハナガサシャクナゲ	1804	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	53.8 × 40.9		第4期
	25 ヘンダーソン画、 ランドゼア刻	25 チャイナ・リモドロソ	1802	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	53 × 40.4		第4期
	26 ヘンダーソン画、 コールドウォール 刻	26 カンナ	1804	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	54 × 41		第4期
	27 ヘンダーソン画、 パークおよびルイ ス刻	27 エジプト・ハス	1804	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	45.8 × 37.7		第4期
	28 ヘンダーソン画、 スタドラー刻	28 エジプト睡蓮	1804	スティッブル・エングレーヴィ ング、エッチング、アクアチ ント(多色)、一部手彩色/紙	51.8 × 39.8		第4期
IV 16	マルク・シャガール	死せる魂	1923～ 1927(1948刊)	エッチング、ドライポイント、 アクアチント/紙		群馬県立館林美術館	
	1A	IIA 旅籠屋			22.1 × 28.7		○
	1B	IIB 旅籠屋			22.1 × 28.7		○
	2A	IIIA 小さな町			22 × 28.7		○
	2B	IIIB 小さな町			22 × 28.7		○
	3A	V A ペトルーシカ			22 × 28.7		○
	3B	V B ペトルーシカ			22 × 28.7		○
	4A	LXXXIVA 税関吏チチコフ			21 × 27.5		○
		LXXXIVB 税関吏チチコフ			21 × 27.5		○
IV 17	パブロ・ピカソ	バルザック 知られざる傑作	1927(1931刊)	エッチング/紙		群馬県立館林美術館	
	1	II 二人のモデルの間の画家			19.4 × 27.8		○
	2	III 牡牛と馬			19.2 × 27.9		○
特別出品		XI 絵の前の画家			19.4 × 27.8		○
	3	IV 画家と編み物をするモデル			19.4 × 28		○
	4	IX 三人の立つ裸婦			19.4 × 27.6		○
特別出品		X 動物と男たちのエスキーに囲まれ坐る裸体			19.4 × 27.8		○
IV 18	パブロ・ピカソ	ビュフォン「博物誌」	1936(1942刊)	リフトグランド・エッチング、 アクアチント、エッチング、ド ライポイント/紙		群馬県立館林美術館	

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	サイズ(cm)	所蔵	前後期
IV 18	パブロ・ピカソ	IV雄牛	1955(1956刊)	ドライポイント、ビュラン/紙	27 × 23	群馬県立館林美術館	○
		XIVハゲタカ			27.4 × 21.6		○
		XVII雄鶏			27 × 21		○
		XVIII母雌鶏			31 × 25.6		○
		XIX七面鳥			28 × 23		○
		XXV伊勢エビ			27.8 × 20.8		○
IV 19	パブロ・ピカソ	真夜中の馬たち	1955(1956刊)	ドライポイント、ビュラン/紙		群馬県立館林美術館	
		1			23 × 15.3		○
		2			20.8 × 15.2		○
		3			20.9 × 15.3		○
		4			20.9 × 15.4		○
		5			20.8 × 15.3		○
IV 20	パブロ・ピカソ	闘牛技	1957(1959刊)	リフトグランド・エッチング、 アクアチント/紙		群馬県立館林美術館	
		1 田園の牡牛たち			19.4 × 29		○
		IVドン・タンクレドの呼び込み			19.4 × 29		○
		XVIマタドールが牡牛の死を捧げる			19.6 × 28.8		○
		XVIII牡牛が角で闘牛士を引っかける			19.6 × 29		○
		XXIとどめの後、闘牛士が牡牛の死を告げる			19.4 × 29.2		○
IV 21	デイヴィッド・ホック クニー	6つのグリム童話のための挿絵	1969	エッチング、アクアチント/紙		群馬県立館林美術館	
		1 塔の中の王女			44.7 × 32.3		○
		2 魔法使いと赤ん坊ラプンツェル			27 × 23.1		○
		3 飛びかかる黒猫			23.5 × 27		○
		4 ガラスの山			44 × 32.5		○
	22 ジム・ダイン	フローラの神殿	1984	ドライポイント/紙	45.7 × 30.5	第1期～第4期の4期に分けて展示	
IV 23	南 桂子	春の野原	1954	エッチング/紙	29.6 × 32.6	群馬県立館林美術館	○
		2-1 春の野原	1954	エッチング/銅版(2版のうちの1)	30 × 33		武蔵野市立吉祥寺美術館
		2-2 春の野原	1954	エッチング/銅版(2版のうちの2)	30 × 33		武蔵野市立吉祥寺美術館
		24 1 樹木	1954	エッチング/紙	39.2 × 29		群馬県立館林美術館
		2-1 樹木	1954	エッチング/銅版(表裏に製版)	40 × 30		武蔵野市立吉祥寺美術館
		25 1 花の籠	1955	エッチング/紙	38.8 × 28.2		群馬県立館林美術館
		2-1 花の籠	1955	エッチング/銅版(2版のうちの1)	40 × 30	武蔵野市立吉祥寺美術館	○
		2-2 花の籠	1955	エッチング/銅版(2版のうちの2)	40 × 30		武蔵野市立吉祥寺美術館
		26 公園	1956	エッチング/紙	29 × 29.1		群馬県立館林美術館
		27 1 林	1957	エッチング/紙	28.8 × 18		群馬県立館林美術館
		2 林	1957	カラーインク/紙	48.5 × 36.5		高岡市美術館
		3 林(その2)	1957	カラーインク/紙	48.5 × 36.5		高岡市美術館
		4 林	1957	エッチング/銅版(2版のうちの1)	30.1 × 19.1	武蔵野市立吉祥寺美術館	○
		4 林	1957	エッチング/銅版(2版のうちの2)	30.1 × 19.1		武蔵野市立吉祥寺美術館
		28 1 少女	1958	エッチング/紙	39.1 × 29.1		群馬県立館林美術館
		2 少女	1958	エッチング/銅版(2版のうちの1)	40 × 31		武蔵野市立吉祥寺美術館
		3 少女	1958	エッチング/銅版(2版のうちの2)	40 × 31		武蔵野市立吉祥寺美術館
		29 1 花売娘	1958	エッチング/紙	38.6 × 28	群馬県立館林美術館	○
		2-1 花売娘	1958	エッチング/銅版(2版のうちの1)	30.1 × 30.1		武蔵野市立吉祥寺美術館
		2-2 花売娘	1958	アクアチント/銅版(2版のうちの2)	30.1 × 30.1		武蔵野市立吉祥寺美術館
		30 1 羊飼の少女	1957	エッチング/紙	38.9 × 28.1		群馬県立館林美術館
		2 羊飼の少女	1957	カラーインク/紙	24.2 × 31.6		高岡市美術館
		3-1 羊飼の少女	1959	エッチング/銅版(2版のうちの1)	39 × 30		武蔵野市立吉祥寺美術館
		3-2 羊飼の少女	1959	エッチング/銅版(2版のうちの2、裏は別作品の版)	39 × 30	武蔵野市立吉祥寺美術館	○
		31 1 南 桂子	1985	エッチング/紙	32.4 × 28.3		群馬県立館林美術館
		2 林と少女	1985	鉛筆/紙	30.5 × 23		高岡市美術館
IV 32	ジョアン・ミロ	独り語る	1948～1950	リトグラフ/紙	38 × 28	群馬県立館林美術館	
		1					○
		2					○

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	サイズ(cm)	所蔵	前後期
IV 32	3 ジョアン・ミロ	9				群馬県立館林美術館	○
	4	34					○
IV 33	ラウル・デュフィ	電気の精	1953	リトグラフ/紙		群馬県立館林美術館	
	1	1			99.8 × 62		○
	2	2			100 × 62		○
	3	3			99.8 × 62		○
	4	4			100 × 62		○
	5	5			99.9 × 61.9		○
	6	6			100 × 62		○
	7	7			100 × 62		○
	8	8			99.8 × 62		○
	9	9			100 × 62		○
	10	10			99.8 × 60		○
IV 34	マックス・エルンスト	ルイス・キャロル 魔法の角笛	1970	リトグラフ/紙	32.8 × 24.8	群馬県立館林美術館	
	1	1					○
	2	4					○
	3	7					○
	4	3					○
	5	8					○
	6	9					○
	7	14					○
	8	28					○
	9	29					○
	10	30					○
IV 35	アンディ・ウォーホル	花	1970	シルクスクリーン/紙	91.5 × 91.5	群馬県立館林美術館	
	1	1					○
	2	2					○
	3	3					○
	4	4					○
	5	5					○
	6	6					○
		7					○
IV 36	永井 一正	JAGDAポスター展“JAPAN” (カメ)	1988	シルクスクリーン/紙	103 × 72.8	群馬県立館林美術館	○
37		JAGDAポスター展“JAPAN” (カエル)	1988	シルクスクリーン/紙	103 × 73	群馬県立館林美術館	○
38		YOKOGAWA	1989	シルクスクリーン/紙	103 × 72.4	群馬県立館林美術館	○
39		KAZUMASA NAGAI EXHIBITION	1990	シルクスクリーン/紙	103 × 72.6	群馬県立館林美術館	○
40		KAZUMASA NAGAI EXHIBITION	1990	シルクスクリーン/紙	103 × 72.6	群馬県立館林美術館	○
41		KAZUMASA NAGAI EXHIBITION	1990	シルクスクリーン/紙	103 × 72.6	群馬県立館林美術館	○
42		KAZUMASA NAGAI EXHIBITION (ゾウ)	1991	シルクスクリーン/紙	103 × 72.4	群馬県立館林美術館	○
43		KAZUMASA NAGAI EXHIBITION (ウサギ)	1991	シルクスクリーン/紙	103 × 72.8	群馬県立館林美術館	○
44		KAZUMASA NAGAI EXHIBITION (ヒツジ)	1991	シルクスクリーン/紙	103 × 72.6	群馬県立館林美術館	○
45		JAGDA平和と環境のポスター展“i'm here.”	1992	シルクスクリーン/紙	103 × 72.8	群馬県立館林美術館	○
46		永井一正デザインライフ (トリ)	1993	シルクスクリーン/紙	103 × 72.8	群馬県立館林美術館	○
47		永井一正デザインライフ (サル)	1993	シルクスクリーン/紙	103 × 72.8	群馬県立館林美術館	○
48		KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (尾)	1993	シルクスクリーン/紙	103 × 72.6	群馬県立館林美術館	○
49		LIFE TO SHARE (人／シカ)	1994	シルクスクリーン/紙	102.8 × 72.6	群馬県立館林美術館	○
50		LIFE TO SHARE (人／サル)	1994	シルクスクリーン/紙	102.2 × 72.6	群馬県立館林美術館	○

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	サイズ(cm)	所蔵	前後期
IV 51	永井 一正	LIFE TO SHARE(人／ヒョウ)	1994	シルクスクリーン/紙	103 × 72.8	群馬県立館林美術館	○
52		UENO ZOO	1994	シルクスクリーン/紙	103 × 72.6	群馬県立館林美術館	○
53		現代の表現Ⅲ 7人の作家展	1995	シルクスクリーン/紙	102.4 × 72.6	群馬県立館林美術館	○
54		save nature(ヘビ)	1995	シルクスクリーン/紙	103.2 × 72.8	群馬県立館林美術館	○
55		save nature(トカゲ)	1995	シルクスクリーン/紙	103 × 72.8	群馬県立館林美術館	○
56		save nature(サル)	1995	シルクスクリーン/紙	103 × 72.6	群馬県立館林美術館	○
57		LIFE(ネコ)	1995	シルクスクリーン/紙	102.8 × 72.6	群馬県立館林美術館	○
58		LIFE TO SHARE	1996	シルクスクリーン/紙	103 × 72.8	群馬県立館林美術館	○
59		LIFE(きのこ/笠)	2001	シルクスクリーン/紙	103 × 72.8	群馬県立館林美術館	○
IV 1	カール・プロス フェルト	ヤグルマギクの花	1920年代に撮影 プリント:2005	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30 × 20	群馬県立館林美術館	○
V 2		ヒエンソウー乾いた葉の一部	1920年代に撮影 プリント:2003	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30 × 20	群馬県立館林美術館	○
3		オンダー渦巻状の若い複葉	1920年代に撮影 プリント:2001	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30 × 20	群馬県立館林美術館	○
4		マメー若い羽状複葉	1920年代に撮影 プリント:2000	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30 × 20	群馬県立館林美術館	○
5		分枝	1920年代に撮影 プリント:2001	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30 × 20	群馬県立館林美術館	○
6		オオムギ	1920年代に撮影 プリント:2003	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30 × 20	群馬県立館林美術館	○
7		ヒヨスの萼	1920年代に撮影 プリント:2002	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30 × 20	群馬県立館林美術館	○
8		コエルピニアの種子	1920年代に撮影 プリント:2000	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30 × 20	群馬県立館林美術館	○
9		ニフトコ	1920年代に撮影 プリント:2005	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30 × 20	群馬県立館林美術館	○
10		マツムシソウの種子	1920年代に撮影 プリント:2000	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30 × 20	群馬県立館林美術館	○
V 11	ニルス＝ウド	水の家-1～-8	1982	ゼラチン・シルヴァー・プリント	125 × 132	群馬県立館林美術館	1-4 5-8
V 12	須田 一政	群馬太田・1975年6月8日 「風姿花伝」より	1975	ゼラチン・シルヴァー・プリント	32 × 32	群馬県立館林美術館	○
13		群馬安中・1976年「風姿花 伝」より	1976	ゼラチン・シルヴァー・プリント	32 × 32	群馬県立館林美術館	○
14		群馬安中・1976年「風姿花 伝」より	1976	ゼラチン・シルヴァー・プリント	32 × 32	群馬県立館林美術館	○
15		群馬太田・1975年「風姿花 伝」より	1976	ゼラチン・シルヴァー・プリント	32 × 32	群馬県立館林美術館	○
16		群馬館林・1976年6月6日 「風姿花伝」より	1976	ゼラチン・シルヴァー・プリント	32 × 32	群馬県立館林美術館	○
17		群馬太田大光院新田呑龍、 さつき祭・1976年6月6日「風 姿花伝」より	1976	ゼラチン・シルヴァー・プリント	32 × 32	群馬県立館林美術館	○
18		群馬館林・1976年	1976	ゼラチン・シルヴァー・プリント	32 × 32	群馬県立館林美術館	○
19		群馬館林・1976年「風姿花 伝」より	1976	ゼラチン・シルヴァー・プリント	32 × 32	群馬県立館林美術館	○
V 20	松江 泰治	YEMEN 1991 #15	1991	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 21		CHILE 1995 #62	1995	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 22		NEW ZEALAND 1996 #22	1996	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 23		EGYPT 1997 #12	1997	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 24		UTAH 1997 #46	1997	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 25		MOROCCO 1997 #9	1997	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 26		KOREA 1999 #5	1999	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 27		TEXAS 1999 #61	1999	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 28		ITALY 1999 #13	1999	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 29		ALTIPLANO 2000 #19	2000	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.7 × 55.7	群馬県立館林美術館	○
V 30		ALTIPLANO 2000 #20	2000	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 31		ARGENTINA 2000 # 27	2000	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 32		MONTANA 2000 #93	2000	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 33		BALKAN 2001 #21	2001	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	サイズ(cm)	所蔵	前後期
V 34	松江 泰治	NEW BRUNSWICK 2002 #54	2001	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 35		PRINCE EDWARD ISLAND 2002 #56	2002	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 36		MISSOURI 2002 #63	2002	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 37		CANARY 1993 #35	1993	ゼラチン・シルヴァー・プリント	44.6 × 55.6	群馬県立館林美術館	○
V 38	安田 千絵	Untitled	1993	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34.5 × 34.5	群馬県立館林美術館	○
V 39		Untitled	1993	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34.5 × 34.5	群馬県立館林美術館	○
V 40		Untitled	1997	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34.5 × 34.5	群馬県立館林美術館	○
V 41		Untitled	1995	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34.5 × 34.5	群馬県立館林美術館	○
V 42		Untitled	1996	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34.5 × 34.5	群馬県立館林美術館	○
V 43		Untitled	1995	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34.5 × 34.5	群馬県立館林美術館	○
V 44		Untitled	1997	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34.5 × 34.5	群馬県立館林美術館	○
V 45		Untitled	1998	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34.5 × 34.5	群馬県立館林美術館	○
V 46		Untitled	2000	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34.5 × 34.5	群馬県立館林美術館	○
V 47		Untitled	2001	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34.5 × 34.5	群馬県立館林美術館	○
VI 48		Untitled	2001	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34.5 × 34.5	群馬県立館林美術館	○
VI 49		Untitled	2002	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34.5 × 34.5	群馬県立館林美術館	○
VI 1	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906-1930	ブロンズ	15.6 × 23	群馬県立館林美術館	○○
VI 2		ほろほろ鳥	1910-1912	ブロンズ	19.8 × 23.4	群馬県立館林美術館	○○
VI 3		牝豚	1918	ブロンズ	11 × 20	群馬県立館林美術館	○○
VI 4		フクロウ	1918-1923	石膏	18.6 × 8.5	群馬県立館林美術館	○○
VI 5		ヒグマ	1918-1926	石膏	10.5 × 15.5	群馬県立館林美術館	○○
VI 6		ヒグマ	1918-1926	石膏	10.5 × 15.5	群馬県立館林美術館	○○
VI 7		ヒグマ	1918-1926	ブロンズ	9.2 × 15.8	群馬県立館林美術館	○○
VI 8		雉鳩	1919	石膏	24.9 × 8.9	群馬県立館林美術館	○○
VI 9		雉鳩	1919	ブロンズ	24 × 8.7	群馬県立館林美術館	○○
VI 10		シロクマ	1921-1924	無釉硬質磁器	20.4 × 39.4	群馬県立館林美術館	○○
VI 11		フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9	群馬県立館林美術館	○○
VI 12		バン	1923頃	ブロンズ	26 × 29	群馬県立館林美術館	○○
VI 13		シロクマ	1923-1933	大理石	24.7 × 45.5	群馬県立館林美術館	○○
VI 14		シロクマ	1923-1933	合金	24 × 44.8	群馬県立館林美術館	○○
VI 15		シロクマ	1923-1933	ブロンズ	12 × 23.5	群馬県立館林美術館	○○
VI 16		バン	1925-1932頃	石膏	27.2 × 25.6	群馬県立館林美術館	○○
VI 17		立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-1928	ブロンズ	12.5 × 20.8	群馬県立館林美術館	○○
VI 18		大黒豹	1929	石膏	25 × 83	群馬県立館林美術館	○○
VI 19		大黒豹	1930-1931	ブロンズ	25 × 81	群馬県立館林美術館	○○
VI 20	トム・シャノン	ドルフィン・ファイ	2003	木、磁石、ワイヤー	154 × 226	群馬県立館林美術館	○○
VI 21	西村 盛雄	甘露の雨 マナ10	2002	木	65 × 160	群馬県立館林美術館	○○
展示資料	目黒区美術館制作・監修	画材と素材の引き出し博物館	1986～1993		50 × 53	目黒区美術館	○○
		天然顔料[天平の色—日本画]					
		天然顔料[現代の天然岩絵具—日本画]					
		天然顔料[西洋画]					
		人工顔料[新岩絵具—日本画]					
		人工顔料[西洋画]					
		練り剤による色味の違い					
		絵具[日本画]					
		油絵具の昔と今					
		にかわ					
		画溶液					
		絵具[水彩画]					
		絵具[合成樹脂絵具]					
		木炭・コンテ					
		鉛筆					
		パステル					
		クレヨン・オイルパステル					
		色鉛筆					

作品番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	サイズ(cm)	所蔵	前 期	後 期
展示資料	目黒区美術館制作・監修	画材と素材の引き出し博物館	1986～1993		50 × 53	目黒区美術館	○	○
		筆の原料						
		筆[日本画]						
		刷毛[日本画]						
		筆[西洋画]						
		刷毛[西洋画]						
		支持体[日本画]						
		支持体[油彩画]						
		水彩画用紙						
		パステル画用紙						
		顔料から絵具へ[西洋画]						
制作工程資料	野田哲也制作 東京都美術館監修	木版画制作工程見本全11 枚より	1979		81.5 × 112	東京都現代美術館	○	○
制作工程資料	中林忠良制作 東京都美術館監修	銅版画制作工程見本全10 枚より	1979		81.5 × 112	東京都現代美術館	○	○
制作工程資料	馬場禱男制作 東京都美術館監修	リトグラフ制作工程見本全8 枚より	1979		81.5 × 112	東京都現代美術館	○	○
制作工程資料	岡部徳三制作 東京都美術館監修	セリグラフ制作工程見本全 10枚より	1980		81.5 × 112	東京都現代美術館	○	○
さわれる資料	協力・制作 高崎市タワー美術館	日本画のひみつ[岩絵具・画材の巻]				高崎市タワー美術館	○	○
さわれる資料	協力・制作 創形美術学校	版画のいろいろ-そっと触ってみよう-				創形美術学校	○	○
IV 22	ジム・ダイン	フローラの神殿	1984	ドライポイント/紙	45.7 × 30.5	群馬県立館林美術館		
1		扉 ナンシーの庭の細部						第2期
2		1 ストレリチア(ゴクラクチョウカ)						第2期
3		2 アイリス						第2期
4		3 チャイナ・リモドロ						第1期
5		4 チューリップ						第1期
6		5 ウスロイシャクナゲ						第4期
7		6 スノードロップ						第1期
8		7 アソモリソウ						第2期
9		8 ペルシア・シクラメン						第1期
10		9 カナダユリ						第3期
11		10 イエロー・ピッチャー・プラント						第3期
12		11 スタペリア						第3期
13		12 オーリキュラ						第1期
14		13 エジプト睡蓮						第4期
15		14 ハナガサシャクナゲ						第4期
16		15 カーネーション						第3期
17		16 ドラゴン・アルム						第3期
18		17 アメリカン・カウスリップ						第4期
19		18 白ユリ						第3期
20		19 キスゲ						第2期
21		20 ヒアシンス						第1期
22		21 バラ						第1期
23		22 ウィングド・パッション・フラワー						第3期
24		23 ブルー・パッション・フラワー						第2期
25		24 クアドランギュラー・パッション・フラワー						第3期
26		25 ベニゴウカン						第2期
27		26 ゲットウ						第2期
28		27 エジプト・ハス						第4期
29		28 ナンシーの庭の細部(別刷り)						第4期

◎印刷物・会場作成物

・図録 B5(25.7×19cm) 104 頁

内容:

謝辞

あいさつ(館長 染谷滋)

第Ⅰ章 油彩画

第Ⅱ章 日本画

第Ⅲ章 水彩・パステル

第Ⅳ章 版画

第Ⅴ章 写真

第Ⅵ章 立体

《版画制作工程見本》と《画材の引き出し博物館》(学芸員 松下由里)

出品作品リスト

主要参考文献

カタログ編集、章解説Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ・コラム執筆: 松下由里

カタログ編集補助、章解説Ⅴ・コラム執筆: 中田宏明

コラム執筆: 染谷滋(群馬県立館林美術館館長)

発行: 群馬県立館林美術館

制作: 西山哲(インターパブリカ) 藤沼優子(インターパブリカ)

デザイン: 山田政彦(山田デザイン事務所)

・ポスター B2

・チラシ A4

・パネル

南桂子1枚(48×30cm)

挨拶 1 枚(60×48cm)

章解説 5 枚(60×48cm)

章解説 1 枚(60×96cm)

作品解説コラム6 枚(立体、シャガール、伊庭靖子、フローラ、けし、安井)

(60×48cm)

イラスト 2 枚(顔料、絵画)(60×48cm)

技法解説 4 枚(油彩画、けし、日本画、軸)(60×48cm)

A4 6 枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に※)

[新聞等]

・朝日ぐんま

7.23

「夏は親子でミュージアム 美術を徹底解剖＜館林美術館＞」

・太田タイムス

6.19

「つくりかたから見る美術 コレクション徹底解剖 県立館林美術館」

・上毛新聞

6.18、7.2、7.16

「県立館林美術館「つくりかたから見る美術—コレクション徹底解剖！—」＜ 気になる情報ばれっと 県内美術館 博物館＞

6.26

「館林美術館企画展示「つくりかたから見る美術—コレクション徹底解剖！—」＜ぐんまちゃんの掲示板＞

7.16

「銅版画制作 20 人が挑戦 館林美術館でワークショップ」※

7.17

「県立館林美術館・企画展 「技法」から見る美術」※

7.21

「館林美術館テーマ展示「油彩・藤牧義夫の版画」＜ぐんまちゃんの掲示板＞

7.27

「館林美術館「子どもギャラリートーク」＜ぐんまちゃんの掲示板＞

8.1

「館林美術館企画展示「つくりかたから見る美術」記念講演会＜ぐんまちゃんの掲示板＞

8.3

「県立館林美術館で講演会 技法や画材 理解を 国立民族学博物館 森田さんが助言」※

8.11

「館林美術館企画展示「つくりかたから見る美術」ギャラリーツアー＜ぐんまちゃんの掲示板＞

8.14

「版画技法親子で学ぶ 多色刷りなど体験」※

・上毛新聞シャトル(館林ニュース)

6.11、6.14、6.18、6.21、6.25、6.28、7.2、7.5、7.9、7.16、7.19、7.23、7.26、

8.2、8.6、8.13、8.20、8.23、8.27、8.30、9.3

「企画展示「つくりかたから見る美術」～コレクション徹底解剖＜出かけてみませんか情報 BOX＞

6.12

「夏のイベント案内 ベルギーの作家迎え銅版画の制作体験」※＜GMAT だより＞

6.25、6.28、7.2、7.5、7.9、7.16、7.23、7.26、8.20、8.27、

「学芸員による作品解説会」＜出かけてみませんか情報 BOX＞

6.26

「企画展示「つくりかたから見る美術—コレクション徹底解剖！—」きょう開催 技法知り鑑賞の幅広く」※＜GMAT だより＞

7.2、7.5、7.9、7.16、7.19、7.23、7.26、8.2、8.6、8.13、8.20、8.23

「みんなのアトリエ「多版本版画を摺る体験」＜出かけてみませんか情報 BOX＞

7.2、7.5、7.9、7.16、7.19、7.23、7.26、8.2、8.13、8.20、8.23

「館林邑楽地区小学生木版画展」＜出かけてみませんか情報 BOX＞

7.10

「企画展示「つくりかたから見る美術—コレクション徹底解剖！—」展ブックガイド 画材の歴史や科学知識」※＜GMAT だより＞

7.21

「環境に優しい技法 館林美術館で講座 ベルギーのエバレートさん銅版画制作を実演」※

7.23、7.26

「記念講演会「絵画の解剖～製作手順を追って絵を見てみよう」」＜出かけてみませんか情報BOX＞

7.24

「つくりかた体験ワークショップー自然にやさしい銅版画技法ーご報告 新手法果敢に挑戦」＊＜GMAT だより＞

8.7

「「つくりかたから見る美術」記念講演会「絵画の解剖～制作手順を追って絵を見てみよう」ご報告 色彩の科学巧みに工夫」＊＜GMAT だより＞

8.13

「ギャラリーツアー「画材の引き出し美術館～意外におもしろい画材の話」」＜出かけてみませんか情報BOX＞

8.14

「「つくりかたから見る美術」の楽しみ方 制作技法を読み解いてみませんか 深く鑑賞するために」＊＜GMAT だより＞

8.21

「つくりかたから見る美術」ギャラリーツアーご報告 色の歴史たどり文化考察」＊＜GMAT だより＞

9.4

「つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ーあすで終了 鑑賞の幅広げる機会に」＊＜GMAT だより＞

・東京新聞

6.24、8.26

「群馬県立館林美術館「つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」」＜美術・博物館ガイド＞

[定期刊行物]

・足利漫我人

8月&9月号

「県立館林美術館情報」＜マガジン・ネットワーク＞

・ギャラリー

6、7、8、9月号

「群馬県立館林美術館 つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」＜美術館スケジュール＞

8月号

「つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー 絵画・版画・彫刻…」＜美術館 親子で楽しむ夏休み企画展&ワークショップ＞

・ぐんま広報

7月号

「館林美術館企画展示「つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」」＜夏休み県有施設イベント＞

・ぐんま情報誌 からっ風

7月・8月号

「群馬県立館林美術館 企画展示「つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」」＜Art Museum2010 美術館情報＞

・書道界

第22巻第8号

「技法が見えるアート展 つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」、「群馬県立館林美術館 つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」＜展覧会情報＞

・新美術新聞

3月11日号

「つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」

8月1・11日合併号

「群馬県立館林美術館《企画展示》つくりかたから見る美術 コレクション徹底解剖！」＜美術館ギャラリーガイド＞

・旅鶴

秋の号

「広大な芝生に囲まれた近・現代の造形美は語る」＜旅鶴プラン 300“日本の美の旅”＞

・帝國芸術新聞

第359号、第360号

「群馬県立館林美術館 つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」＜展覧会情報＞

・博物館研究

Vol.45 No.7、No.9

「企画展「つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」」「コレクション展「油彩・藤牧義夫の版画」」＜展覧会情報＞

・版画芸術

No.149

「群馬県立館林美術館 つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」＜展覧会を見に行こう>、「「つくりかたから見る美術」ーコレクション徹底解剖！（藤牧義夫作品展示）」＜展覧会プレビュー>＊

・美術の窓

7、8、9月号

「群馬県立館林 つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」＜展覧 会情報 美術館＞

・美連協ニュース

8月号

「群馬県立館林美術館 つくりかたから見る美術」＜加盟館展覧会案内＞

・raifu

8月号

「つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」＜おすすめのイベント情報＞

・渡良瀬通信

7、8、9月号

「群馬県立館林美術館（館林市） つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」＜渡良瀬インフォメーション＞

・Deli-J

8月号

「館林市 つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー 県立館林美術館」＜Event Guide＞

◎放送

[テレビ]

・NHK 総合

7.11 11:00 頃 <こんにちはいっと6けん>

[ラジオ]

・エフエム太郎

6.30、7.23、7.30、8.27

8:20～8:25 <ぐんまいきいき情報>

◎関連事業

・ワークショップ

7.11

「つくりかた体験ワークショップー自然にやさしい銅版画技法ー」

講師: マニックス・エヴァレート氏(版画家)

協力: 大山恵美子氏(版画家)、大手仁氏(銅版画家)

・記念講演会

8.1

「絵画の解剖ー制作手順を追って絵を見てみようー」

講師: 森田恒之氏(国立民族学博物館名誉教授・愛知県立芸術大学客員教授)

・ギャラリーツアー

8.18

「画材の引き出し博物館ー意外にも面白い画材の話ー」

講師: 降旗千賀子氏(目黒区美術館学芸主査)

・みんなのアトリエ「多版本版画摺り体験」

7.22、7.29、8.5、8.12、8.19、8.26

講師: 山本博氏(版画家)



展示室1



展示室2



展示室3



展示室4

3. りょうもうの美術館—こんな素敵なコレクションがあった。—

会期 平成22年9月18日(土)～11月28日(日)

前期 9月18日(土)～10月24日(日)

後期 10月26日(火)～11月28日(日)

会場 展示室2、3、4

主催 群馬県立館林美術館

助成 (財)地域創造

観覧料 一般800(640)円 大高生400(320)円

()内は、20名以上の団体割引料金

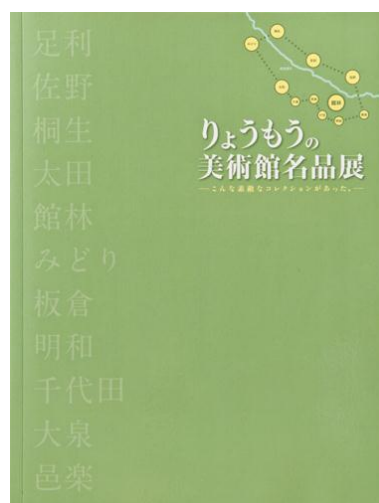
また、これらの地域に居住する人たちでも、知っていそうで案外知らない美術館の数々を、この機会に再発見できるよう、当館だけでなく各地の施設を訪れる契機になるように考えた。

両毛地域とは群馬県南東部と栃木県南西部にまたがる一帯、いわゆる両毛6市(館林、太田、桐生、みどり、足利、佐野)と邑楽郡の5町(大泉町、邑楽町、板倉町、千代田町、明和町)を指すことが一般的である。これらの地域は、渡良瀬川をはさんで気候風土も似かよっており、歴史的にも江戸時代の徳川綱吉期に同一領地化され、近代では足尾銅山の鉱毒被害を共通して受け、また東武鉄道を介して結ばれて、生活文化の一体感を持つ地域である。

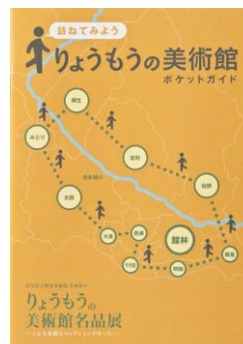
本展は、この地域にある個性豊かなさまざまな美術館を中心に、美術館は持たなくとも魅力的な作品を持つ市や町のコレクションも加え、両毛の様々な施設とその美術文化の魅力の一端を紹介した。



ポスター



図録



ポケットガイド

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	前 期	後 期
1	田崎草雲	武陵春色図	明治時代	絹本着色・軸	142.0×84.0	草雲美術館	○	○
2	田崎草雲	龍図	1874頃	絹本墨画・軸	149.4×64.5	草雲美術館	○	○
3	鍋島	染付青海波山水文大皿	江戸時代	磁器	7.4×29.9(14.4)	栗田美術館	○	○
4	伊萬里	色絵寿字唐子文独楽形大鉢	江戸時代	磁器	8.8×37.0(20.0)	栗田美術館	○	○
5	伊萬里	色絵梅花双鳥文皿	江戸時代	磁器	4.1×24.8(16.2)	栗田美術館	○	○
6	伊萬里	色絵婦人像	江戸時代	磁器	38.5	栗田美術館	○	○
7	伊東深水	美人図 (足利銘仙ポスター原画)	1927	絹本着色・額	88.3×56.8	足利市立美術館	○	○
8	長谷川昇	婦人と猫 (足利銘仙ポスター原画)	1934	油彩・カンヴァス	91.0×60.5	足利市立美術館	○	○
9	川島理一郎	広東大観	1939	油彩・カンヴァス	89.5×130.3	足利市立美術館	○	○
10	川島理一郎	南方の蘭花	1943	油彩・カンヴァス	72.5×60.5	足利市立美術館	○	○
11	牧島如鳩	魚籃観音像	1952	油彩・カンヴァス	136.8×205.5	足利市立美術館寄託	○	○
12	高木勇次	窓	1939	油彩・カンヴァス	72.1×100.0	足利市立美術館	○	○
13	原田平治郎	流れの見える風景	1999	油彩・カンヴァス	118.0×91.2	足利市立美術館	○	○
14	飯田善國	矢場川風景—秋色	1953	油彩・カンヴァス	145.0×95.0	足利市立美術館	○	○
15	飯田善國	交叉	1987	鉛、ステンレススチール、着色ナイロンロープ	150.0×150.0×40.0	足利市立美術館	○	○
16	長重之	視床—赤	1983	アクリル絵具、断熱材、布・木	136.0×164.0×3.7	足利市立美術館	○	○
17	長谷川沼田居	庭の草むら	1935	紙本着色・額	166.6×89.5	長谷川沼田居美術館 (足利市立美術館寄託)	○	○
18	長谷川沼田居	自画像	1956	鉛筆・紙	40.7×26.6	長谷川沼田居美術館 (足利市立美術館寄託)	○	○
19	長谷川沼田居	自画像	1956	鉛筆・紙	43.5×29.0	長谷川沼田居美術館 (足利市立美術館寄託)	○	○
20	長谷川沼田居	太陽花	1961	水彩、ペン、木炭・紙	79.1×54.5	長谷川沼田居美術館 (足利市立美術館寄託)	○	○
21	小室翠雲	客窓収得	1925	紙本着色・画卷	22.0×652.0	佐野東石美術館	前後期 展示替	
22	下保昭	黄岳朝陽	1984頃	紙本着色・額	80.5×100.0	佐野東石美術館	○	○
23	藤本能道	緑釉金彩夕顔文八角宮	1976頃	磁器	13.2×30.0×30.0	佐野東石美術館	○	○
24	奥田元宋	多摩秋映	1982	絹本着色・額	53.0×72.7	佐野市立吉澤記念美術館	○	○
25	高山辰雄	小鳥	1986	絹本着色・額	99.0×74.7	佐野市立吉澤記念美術館	○	○
26	松本哲男	巖	1976	紙本着色・額	225.0×180.0	佐野市立吉澤記念美術館	○	○
27	田村耕一	青磁椿文広口壺	1973	陶器	43.0×34.0	人間国宝田村耕一陶芸館	○	○
28	田村耕一	銅彩柘榴文大壺	1982	陶器	43.0×34.4	人間国宝田村耕一陶芸館	○	○
29	麻生三郎	裸	1955	油彩・カンヴァス	22.7×15.8	財団法人 大川美術館	○	○
30	網谷義郎	二人座る	1961	油彩・カンヴァス	72.7×90.9	財団法人 大川美術館	○	○
31	石井壬子夫	壁・ヒロシマ	1976	油彩・カンヴァス	130.3×97.0	財団法人 大川美術館	○	○
32	大野五郎	海沿いの二つの道、襟裳岬にて	1974	油彩・カンヴァス	60.6×90.9	財団法人 大川美術館	○	○
33	オノサト・トシノブ	作品(集合のオレンジ円)	1962	油彩・カンヴァス	45.5×53.0	財団法人 大川美術館	○	○
34	島崎蒔助	地下鉄入口(ハンプルク)	1970	油彩・カンヴァス	60.6×72.7	財団法人 大川美術館	○	○
35	菅井汲	La Femme(女)	1952	油彩・紙	90.9×65.2	財団法人 大川美術館	○	○
36	菅野圭介	ハイデルバルク風景	1952	油彩・カンヴァス	60.0×80.3	財団法人 大川美術館	○	○
37	難波田龍起	海神の詩	1977	油彩・カンヴァス	72.7×90.9	財団法人 大川美術館	○	○
38	野田英夫	無題(カフェにて)	1938	油彩、パステル・紙	20.5×31.0	財団法人 大川美術館	○	○
39	野見山暁治	雪明り	1966	油彩・カンヴァス	65.2×80.3	財団法人 大川美術館	○	○
40	浜田知明	階段を上がる人	1986	ブロンズ	29.0×9.5×19.5	財団法人 大川美術館	○	○
41	秀島由己男	花子	1984	油彩、テンペラ・カンヴァス	33.4×24.3	財団法人 大川美術館	○	○
42	松本竣介	自画像	1943頃	油彩・板	27.3×22.2	財団法人 大川美術館	○	○
43	台伸八	集印帳 上州野ざらし紀行	1990	紙本着色・画帳	11.8×147.5	財団法人 大川美術館	○	○
44	台伸八	集印帳 大川美術館周辺	制作年不詳	紙本着色・画帳	11.8×147.0	財団法人 大川美術館	○	○
45	中国貴州省東南部 榕江県苗族	儀式用衣装	20世紀	絹、綿、化学繊維、その他/紋織、刺繍、朱子	120.0×136.0	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	前 期	後 期
46	中国貴州省東南部 榕江県苗族	儀式用衣装	20世紀	絹、綿、麻、その他/紋 織、刺繍、朱子、アプ プリケ、パッチワーク	117.0×158.0	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○
47	中国貴州省東南部 榕江県トン族	女性用上衣	20世紀	麻、絹、金属/平織、刺 繍、アププリケ、スパン コール	152.0× 79.0	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○
48	中国貴州省東南部 榕江県トン族	前掛(前だれ)	20世紀	麻、絹、金属/平織、刺 繍、アププリケ、スパン コール	48.5×55.0 (リボンを除く)	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○
49	中国貴州省東南部 榕江県トン族	前掛(前だれ)	20世紀	麻、絹/平織、刺繍、 アププリケ、スパンコー ル	49.0×55.0 (リボンを除く)	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○
50	中国雲南省南部ハ ニ族	帽子	20世紀	綿、絹/平織、刺繍	14.0×14.0×14.0	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○
51	中国雲南省南部ハ ニ族	帯	20世紀	綿、絹/平織、刺繍、 アププリケ	11.0×105.0 房9.5	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○
52	中国雲南省南部ハ ニ族	脚絆	20世紀	綿、絹/平織、刺繍、 アププリケ	16.0×31.5	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○
53	中国雲南省南部ハ ニ族	ショルダーバッグ	20世紀	綿、絹、アクリル/平織、 刺繍、アププリケ	26.0×21.0 (紐除く)	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○
54	中国雲南省大理州 白族	帽子	20世紀	絹、金属、羊毛/刺繍、 朱子、斜文(綾)、アプ プリケ	23.0×16.0×28.0	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○
55	中国雲南省大理州 白族	帽子	20世紀	絹、金属/刺繍、朱子、 アププリケ	29.0×22.5×22.5	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○
56	中国雲南省大理州 白族	帽子	20世紀	絹、金属、その他/平 織、刺繍、	24.0×15.0×35.2	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○
57	中国	前掛け(背負い布)	20世紀	麻、羊毛/紋織、刺繍、 斜文(綾)、アププリケ、 パッチワーク	75.0×76.0	(財)桐生地域地場産業 振興センター収蔵品	○	○
58	丸木位里・俊	足尾鉋毒の図 第1部 《足尾銅山》	1987	紙本着色・軸	176.5×764.0	太田市	○	
59	丸木位里・俊	足尾鉋毒の図 第4部 《直訴と女押し出し》	1988	紙本墨画・軸	176.5×764.0	太田市		○
60	飯塚小玗齋	網代編九葉樹形文八角盆	1975頃	竹	5.5×38.0×38.0	太田市	○	○
61	飯塚小玗齋	鳳尾竹氷裂編花籃「鶴巢」	1999	竹	28.0×38.0×40.0	太田市	○	○
62	岸浪柳溪	波山春暁	1923	紙本着色・六曲一雙屏 風	各153.9×310.6	館林市立資料館寄託		○
63	岸浪柳溪	蓬萊仙閣図	1930	絹本着色・軸	162.5×57.0	館林市立資料館	○	
64	小室翠雲	月下鳴機図	1919	絹本着色・軸	159.5×50.5	館林市立資料館	○	
65	小室翠雲	青緑舩禽采蓮図	1920	絹本着色・軸	170.0×50.5	館林市立資料館	○	
66	松林桂月	紅葉図	制作年不詳	絹本着色・二曲一隻屏 風	169.0×175.0	館林市立資料館寄託	○	
67	岸浪百草居	碧峰丹楓図	制作年不詳	絹本着色・軸	143.2×42.1	館林市立資料館	○	
68	藤牧義夫	隅田川絵巻 第4巻	1935頃	紙本墨画・卷子	27.5×1440.0	館林市立資料館		前後期 展示替
69	小室翠雲	資料(各種辞令、自筆葉書、 著書、画帖など)				館林市立資料館	○	○
70	遠藤燦可	牡丹苑	1946	紙本着色・額	133.5×186.5	みどり市大間々博物館	○	○
71	高橋光輝	六月の頃	1953	紙本着色・額	210.0×153.0	板倉町	○	○
72	恩田得寿	老松鷹之図	制作年不詳	紙本着色・六曲一隻屏 風	171.5×363.0	明和町	○	○
73	亀田鵬齋	漁樵問答	1806	紙本墨書・六曲一隻屏 風	127.7×51.0 (第1・6扇) 127.7×47.0 (第2～5扇)	千代田町	○	○
74	中平四郎	横座婦	1937	木	92.0×72.0×68.0	大泉町	○	○
75	長野大原	芙蓉	1955頃	絹本着色・額	57.0×70.0	大泉町	○	○
76	中村節也	夏浅間(鬼押し出しの恐怖)	1955	油彩・カンヴァス	80.5×100.0	邑楽町	○	○
77	中村節也	大空の詩	1966	油彩・カンヴァス	97.0×194.0	邑楽町	○	○
78	中村節也	グランドキャニオンに立つ 白い裸像	1989	油彩・カンヴァス	162.3×194.5	邑楽町	○	○

◎印刷物・会場作成物

・図録 B5 判変形(257×190 mm) 80 頁

内容:

ごあいさつ(館長 染谷滋)

両毛の美術館(館長 染谷滋)

草雲美術館

栗田美術館

足利市立美術館

長谷川沼田居美術館

佐野東石美術館

佐野市立吉澤記念美術館

人間国宝 田村耕一陶芸館

大川美術館

桐生市

太田市

館林市立資料館

みどり市大間々博物館

板倉町

明和町

千代田町

大泉町

邑楽町

作家解説

作品出品リスト

謝辞

展覧会担当:

染谷滋(群馬県立館林美術館 館長)

神尾玲子(群馬県立館林美術館 副主幹〈学芸員〉)

発行:群馬県立館林美術館

制作:美術出版社

デザイン:森重智子

・パネル

挨拶パネル2枚

解説パネル 22 枚

写真パネル1枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に*)

[新聞等]

・朝日新聞

「りょうもうの美術館名品展」〈群馬マリオン ギャラリー・ミュージアム〉

・朝日ぐんま

11.12

「りょうもうの美術館名品展 地域密着が開く新たな可能性」*〈美術探訪〉

・おおたタイムス

「りょうもうの美術館名品展—県立館林美術館—」

・桐生タイムス

9.14

「生活文化の一体感ある両毛地域の名品集めて」*〈文芸・文化〉

9.28

「両毛の名品」〈ぞうき林〉

「両毛地域の美術館博物館から知られざる名品を集め—県立館林美術館で 11 月 28 日まで企画展—」*

9.29

「りょうもうの美術館名品展 両毛6市と邑楽5町の美術文化」*

9.29

「企画展りょうもうの美術館名品展」〈あすの催し〉

・下野新聞

9.26

「両毛の名品一堂に 本県7美術館も出品」*〈Culture〉

9.26

「りょうもうの美術館名品展」〈10 月の展示館だより〉

・上毛新聞

9.14

「たてび木曜レクチャー—西洋美術の巨人たち」〈ぐんまちゃんの揭示板〉

9.19

「両毛の芸術品一堂に 館林美術館 絵画や陶磁器 78 点」*

9.24、9.27、10.1、10.4、10.8、10.11、10.15、10.18、10.25、10.29、11.1、11.5、11.8、11.12、11.19、11.22、11.26

「企画展示「りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なおコレクションがあった。—」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉

9.27

「市立美術館知恵比べ 低予算で集客へ独自のサービス」*〈ニュース解説 フロントライン〉

10.4、10.8、10.11、10.15、10.18、10.25、11.8、11.12、11.19、11.22

「たてび木曜レクチャー」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉

10.4、10.8、10.18、11.8

「学芸員による作品解説会」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉

10.4、10.8、10.11、10.15、10.18、10.25、10.29、11.8、11.12、11.19、11.22、11.26

「子どもギャラリートーク」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉

10.8、10.15

「大川美術館学芸員講演会」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉

10.29

「栗田美術館館長講演会」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉

11.19、11.22、11.26

「館林市史編さんセンター所長講演会」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉

10.7

「館林美術館「作品解説会」〈ぐんまちゃんの揭示板〉

10.8
「県内美術館博物館「自画像(松本俊介)」」〈気になる情報ぱれっと〉

10.29
「県内美術館博物館「群雀図」」〈気になる情報ぱれっと〉

11.12
「県内美術館博物館「紅地雪輪青海波推薦文唐織能装束」」〈気になる情報ぱれっと〉

10.29、11.12
「りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なコレクションがあった。—」〈気になる情報ぱれっと〉

11.3、11.12
「群馬県立館林美術館企画展示「りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なコレクションがあった。—」※ポスターを一面掲載

11.9
「館林美術館企画展示「りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なコレクションがあった。—」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

・上毛新聞シャトル

9.18
「「りょうもうの美術館名品展」きょう開幕」＊〈GMAT だより〉

9.25
「「りょうもうの美術館名品展」より、足利市の美術館」＊〈GMAT だより〉

10.1
「両毛 11 市町村が所蔵 美術品一堂に展示 絵画、陶磁器など 78 点」＊

10.2
「「りょうもうの美術館名品展」より、佐野市の美術館」＊〈GMAT だより〉

10.9
「「りょうもうの美術館名品展」より、桐生・みどり両市のコレクション」＊〈GMAT だより〉

10.11
「「りょうもうの美術館名品展」より、太田市のコレクション」＊〈GMAT だより〉

11.13
「「りょうもうの美術館名品展」より、館林市のコレクション」＊〈GMAT だより〉

11.20
「「りょうもうの美術館名品展」より、邑楽郡5町のコレクション」＊〈GMAT だより〉

11.27
「「りょうもうの美術館名品展」あすで終了」＊〈GMAT だより〉

・東京新聞

9.16、9.23、10.14、11.11
「りょうもうの美術館名品展 両毛のさまざまな施設も紹介」〈ゆめぼっけ美術・博物館ガイド〉

9.21
「東毛地域と栃木・南西部が所属 芸術作品を一堂に 館林で名品展 日本画など 78 点並ぶ」＊〈群馬〉

・読売新聞

9.16
「りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なコレクションがあった。—」〈ギャラリー〉

・両毛新聞

10.5
「りょうもうの美術館名品展 群馬県立館林美術館」＊〈手軽に行けるカルチャードライブ 近県美術館、博物館だより〉

[定期刊行物]

・足利漫我人

10・11 月号
「県立館林美術館情報」〈マガジンネットワーク〉

・ギャラリー

8月号、9月号、10月号、11月号
「りょうもうの美術館名品展」〈美術館スケジュール〉

・ぐんま広報

10月号
「館林美術館企画展示「りょうもうの美術館名品展」

・ぐんま情報誌 からっ風

9・10月号
「企画展示「りょうもうの美術館名品展」」〈美術館情報〉

・県民芸術祭報告集
第34回 県民芸術祭報告集〈芸術鑑賞機会提供事業〉

・ゴールデンライフ

秋号
「企画展りょうもうの美術館名品展」〈全国の美術展で開催される美術展スケジュール〉

・新美術新聞

8月1・11 合併号
「りょうもうの美術館名品展」〈下半期展覧会カレンダー〉

・TAKATAI

11.19
「両毛の美術作品一堂に初企画展 28 日まで」＊〈アート情報〉

・館林商工会議所ニュース

10.1
「りょうもうの美術館名品展—群馬県立館林美術館—」

・地域創造レター

10月号
「りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なコレクションがあった。—」〈地域通信〉

・帝國芸術新聞

第362号、第363号
「りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なコレクションがあった。—」

・Deli-j

11月号
「りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なコレクションがあった。—」〈群

馬イベントガイド)

・博物館研究

10月号、11月号

「りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なコレクションがあった。—」
〈event calendar〉

・パリッシュ

9月号

「りょうもうの美術館名品展」〈前橋・伊勢崎タウンインフォメーション〉

・美術の窓

9月号・10月号、12月号

「りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なコレクションがあった。—」〈展
覧会情報〉

・美連協ニュース

8月号、11月号

「りょうもうの美術館名品展」〈加盟館展覧会案内〉

・渡良瀬通信

9月号、10月号、11月号

「りょうもうの美術館名品展—こんな素敵なコレクションがあった。—」〈渡
良瀬インフォメーション〉

◎放送

[ラジオ]

・エフエム太郎

9.21、11.19

8:20—8:25〈ぐんまいきいき情報〉

◎関連事業

・連続講演会

10.2

「足利市立美術館とコレクション」

講師:江尻潔氏(足利市立美術館学芸員)

10.16

「大川美術館とコレクション」

講師:小此木美代子氏(大川美術館学芸員)

10.30

「栗田美術館とコレクション」

講師:栗田俊英氏(栗田美術館館長)

11.13

「佐野市立吉澤記念美術館とコレクション」

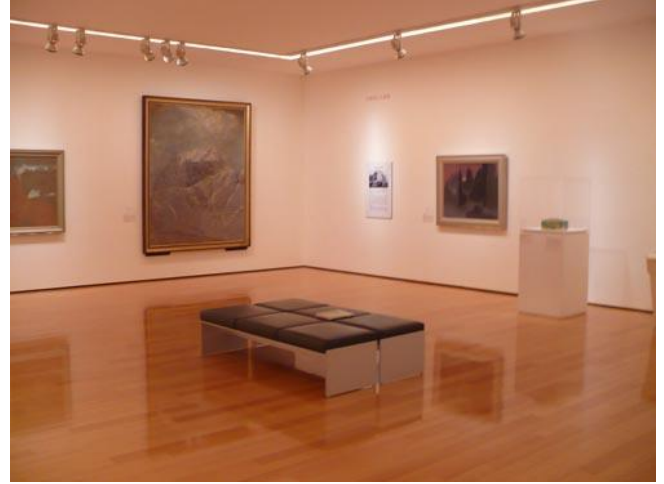
講師:末武さとみ氏(佐野市立吉澤記念美術館学芸員)

11.27

「館林市とコレクション」岡屋紀子氏(館林市史編さんセンター所長)



展示室2



展示室3



展示室4

群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに

会期 平成22年12月11日(土)ー平成23年4月3日(日)

会場 展示室2、3、4

主催 群馬県立館林美術館

協力 大泉町・大泉町教育委員会

観覧料 一般300(240)円 大高生150(120)円

()内は、20名以上の団体割引料金

中平四郎は1891(明治24)年、現在の群馬県邑楽郡大泉町に生まれた木彫家である。21歳で上京し、川上冬崖の孫で木彫家の川上邦世に学んだ。1923(大正12)年、日本美術院試作展に《春の海》が入選、翌年の院展には《讀賣》が入選して好評を得るなど、着実に木彫家として歩み始める。

師、川上邦世は1925(大正14)年、わずか39歳の生涯を閉じたが、中はその後も院展に出品を続けた。1927(昭和2)年には《牡牛》を出品し、院展の大御所、平櫛田中に「正に牛に関しては中君には及ばない」と賞賛され、多くの動物彫刻を手がける。しかし一方で、動物以外には彫れないのではないかとその声に反発し、1936(昭和11)年に裸婦をモデルとした《山の湯》を出品して入選、同年日本美術院院友に推挙される。その後も院展に出品を重ねるが、故郷に帰り制作を続けることを決断、戦後の1949(昭和24)年に帰郷する。しかし同年、病に倒れ、57歳の生涯を閉じた。

帰郷の年に帰らぬ人となった中平四郎であったが、その芸術を理解する故郷大泉町の人々に支えられ、作品が守られてきた。作家の生誕120年を記念し、町の外では知る人の少ないその作品約50点を、彼の師である木彫家・川上邦世の作品11点とともに紹介した。



ポスター



図録



ジュニアガイド

出品目録

中平四郎

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	初出展覧会	備考
1	兎	大正3(1914)年	木彫	15.5×22.6×9.0	個人蔵		
2	僧侶	大正4(1915)年	木彫	25.0×10.5×8.0	個人蔵		
3	仏像	大正6(1917)年	木彫	19.0×7.5×5.5	個人蔵		
4	山羊	大正7(1918)年	木彫彩色	32.0×21.3	個人蔵		
5	裸婦	大正9(1920)年	木彫	120.0×56.0×40.0	大泉町文化むら		
6	女子	大正11(1922)年	木彫	86.0×33.0×27.0	求美小屋拾得	第4回帝国美術院展覧会 出品・落選作「女子」か	
7	題不詳(男性立像)	大正13(1924)年	木彫	68.0×18.5×15.5	大泉町		
8	讀賣	大正13(1924)年	木彫	60.0×34.0×25.0	個人蔵	再興第11回 日本美術院展覧会	
9	北海道の熊	大正15(1926)年	木彫	26.0×33.0×23.0	個人蔵	再興第13回 日本美術院展覧会	
10	牡牛	昭和2(1927)年	木彫	29.0×45.0×19.0	個人蔵	再興第14回 日本美術院展覧会	
11	種牛	昭和3(1928)年	木彫	40.0×58.0×18.0	個人蔵	再興第15回 日本美術院展覧会	
12	失業者	昭和4(1929)年	木彫	34.0×13.0×11.5	個人蔵	第14回 日本美術院試作展覧会	
13	水牛	昭和6(1931)年	木彫	23.0×38.0×16.0	個人蔵	再興第18回 日本美術院展覧会	
14	北海道アイヌ	昭和7(1932)年	木彫彩色	42.0×14.5×14.5	個人蔵	第16回 日本美術院試作展覧会	
15	猿	昭和7(1932)年	木彫	26.0×10.0×17.0	大泉町立北小学校	第17回 日本美術院試作展覧会 (昭和8年)	
16	猿	昭和7(1932)年	木彫	25.0×9.0×13.0	個人蔵		
17	眠	昭和8(1933)年	木彫	10.0×27.5×17.0	個人蔵	第17回 日本美術院試作展覧会	
18	山ノ湯	昭和8(1933)年	石膏彩色	96.0×40.0×46.0	大泉町立北小学校		
19	山ぶどう帯留	昭和8(1933)年	木彫	3.5×5.5×0.7	個人蔵		
20	山ノ湯	昭和11(1936)年	木彫	110.0×42.0×54.0	個人蔵	改組第1回 帝国美術院展覧会落選、 再興第23回 日本美術院展覧会	
21	種牛	昭和12(1937)年	木彫	12.0×28.0×14.0	個人蔵		
22	静	昭和12(1937)年	石膏彩色	79.0×52.0×74.0	大泉町立図書館		
23	横座婦	昭和12(1937)年頃	石膏彩色	83.0×74.0×50.0	群馬県立大泉高等学校		
24	横座婦	昭和12(1937)年	木彫	92.0×72.0×68.0	大泉町文化むら	再興第24回 日本美術院展覧会	
25	静	昭和13(1938)年	木彫	93.0×62.0×80.0	個人蔵	再興第25回 日本美術院展覧会	
26	虎	昭和13(1938)年	木彫	38.0×21.5×13.0	個人蔵		
27	水牛	昭和14(1939)年	木彫	22.0×38.6×15.0	個人蔵		
28	虎	昭和16(1941)年	木彫	20.0×24.0×9.0	個人蔵		
29	M氏像	昭和16(1941)年	木彫	47.5×24.0×27.0	個人蔵	再興第28回 日本美術院展覧会	
30	兎	昭和17(1942)年	木彫	12.0×38.0×15.0	個人蔵		
31	唐獅子	昭和18(1943)年	木彫	34.0×37.0×18.0	個人蔵		
32	牛買	昭和18(1943)年	木彫	23.0×52.0×29.0	個人蔵		
33	猿	昭和19(1944)年	木彫	17.5×14.0×17.0	個人蔵		
34	猿	昭和19(1944)年	木彫	21.0×16.0×18.0	個人蔵		
35	犬	昭和24(1949)年	木彫	34.5×29.2×14.4	個人蔵		絶作
36	猿	制作年不詳	木彫	26.0×11.3×21.0	個人蔵		
37	猿	制作年不詳	木彫	25.0×15.0×25.0	個人蔵		
38	三猿	制作年不詳	木彫	16.0×27.5×18.0	個人蔵		
39	兎	制作年不詳	木彫	36.0×15.5×12.0	個人蔵		
40	挽馬	制作年不詳	木彫	18.6×19.8×6.8	郵便事業株式会社群馬大泉支店		
41	馬	制作年不詳	木彫	18.2×19.2×8.8	個人蔵		
42	馬	制作年不詳	木彫	31.0×14.8×10.8	個人蔵		
43	きつね	制作年不詳	木彫	25.5×11.3×17.0	個人蔵		
44	アイヌの人	制作年不詳	木彫彩色	61.0×35.0×26.0	個人蔵		

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	初出展覧会	備考
45	鶏の浮彫	制作年不詳	木彫	23.2×21.0×1.8	個人蔵		
46	箱	制作年不詳	木彫	7.0×14.0×10.0	個人蔵		
47	箱	制作年不詳	木彫	4.2×22.2×10.4	個人蔵		
48	煙草入れと煙草盆	制作年不詳	木彫	4.8×13.6×10.2	個人蔵		
49	煙草入れ	制作年不詳	木彫	3.9×12.0×9.0	個人蔵		
50	恵比寿・大黒天像	制作年不詳	木彫	9.0×6.0×6.0	個人蔵		
51	恵比寿・大黒天像	制作年不詳	木彫	23.0×10.0×13.0	個人蔵		
52	茶托	制作年不詳	木彫	2.2×14.0×14.0	個人蔵		
53	スケッチブック 8冊	制作年不詳	—	—	個人蔵		展示箇所はカタログに記載
54	川上邦世から贈られた扇子	制作年不詳	墨・紙	長さ39.3	個人蔵		

川上邦世

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	初出展覧会	備考
55	雲	大正4(1915)年	木彫	75.4×42.0×24.9	熱海市立澤田政廣記念美術館	第7回	
56	春風駘蕩	大正5(1916)年	木彫	71.0×20.5×24.5	個人蔵	日本彫刻会展 再興第3回 日本美術院展覧会	
57	題不詳(女性立像)	大正6(1917)年	木彫	133.0×30.0×38.8	個人蔵		
58	女座像	制作年不詳	木彫	31.0×13.2×13.5	東御市立梅野記念絵画館		
59	鹿	制作年不詳	木彫	64.4×56.6×19.0	個人蔵		
60	魔驅	制作年不詳	木彫	44.0×19.8×16.0	平園賢一氏蔵		
61	題不詳(仏像)	制作年不詳	木彫	32.0×17.4×13.0	個人蔵		
62	三味線を弾く女	制作年不詳	木彫彩色	30.0×37.0×22.8	神奈川県立近代美術館寄託		2010年12月11日から2011年2月27日までの展示
63	題不詳(剣を持つ女性)	制作年不詳	木彫	35.5×19.7×16.3	個人蔵		
64	猿	制作年不詳	木彫	35.0×18.5×19.0	個人蔵		
65	内裏雛	制作年不詳	木彫彩色	6.7×11.5×8.7	個人蔵		

【特別出品】

村田 徳次郎

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	初出展覧会	備考
1	N君安座	昭和16(1941)年	石膏彩色	60.0×34.0×34.0	個人蔵	再興第28回 日本美術院展覧会	

平櫛 田中

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	初出展覧会	備考
2	霊亀随	昭和11(1936)年頃	木彫	48.0×24.0×16.0	小平市平櫛田中彫刻美術館		
3	楠公	昭和29(1954)年頃	木彫彩色	14.0×14.5×19.5	小平市平櫛田中彫刻美術館		
4	鳥有先生	制作年不詳	木彫彩色	46.0×14.0×13.0	小平市平櫛田中彫刻美術館		

* 作品サイズは、原則として高さ×幅×奥行とした。

◎印刷物・会場作成物

・図録

ごあいさつ(群馬県立館林美術館館長 染谷滋)

中平四郎と師、川上邦世(群馬県立館林美術館副主幹〈学芸員〉神尾玲子)

[図版]

中平四郎

特別出品 村田徳治郎

川上邦世

特別出品 平櫛田中

中平四郎年譜

川上邦世年譜

主要参考文献

出品作品リスト

謝辞

主催:群馬県立館林美術館

協力:大泉町・大泉町教育委員会

展覧会担当:神尾玲子(群馬県立館林美術館副主幹〈学芸員〉)

発行:群馬県立館林美術館

制作:美術出版社

デザイン:森重智子

・パネル

挨拶パネル2枚

中平四郎年譜2枚

平櫛田中年譜1枚

村田徳次郎2枚

平櫛田中1枚

川上邦世2枚

作品解説7枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に※)

[新聞等]

・朝日新聞

1.12、2.23、3.2、3.9

「群馬県立館林美術館「中平四郎展一師、川上邦世とともに」〈群馬マリン 沿線美術情報〉

・朝日ぐんま

3.25

「大泉町生まれの彫刻家・中平四郎 生誕 120 年機に全貌を紹介」※

・おおたタイムス

11.27

「大泉に生まれた木彫家 中平四郎の特別展示開催一館林美術館で 12 月 11 日から」※

1.23

「館林美術館が特別展 中平四郎の生誕 120 年で 70 点を展示 牛など

動物数多く 生涯、功績を紹介」※

3.19

「『牡牛』の木彫家「中平四郎」展 県立館林美術館」※

・ぐんま経済新聞

12.2

「中平四郎木彫展を開催 県立館林美術館 「讀賣」など代表作を展示」※

・信濃毎日新聞

1.7

「中平四郎一師、川上邦世とともに」展 群馬県立館林美術館(4月まで)」※

・上毛新聞

12.8、2.26、3.4

「群馬県立館林美術館特別展示「中平四郎展一師、川上邦世とともに」作品解説会〈ぐんまちゃんの掲示板〉

12.8

「館林美術館 大泉出身の木彫家 中平四郎の生涯紹介 11 日から牛など 70 点展示」※

12.9

「館林美術館「子どもギャラリートーク」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

12.10、1.7、1.21、3.11

「県立館林美術館 群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに」〈気になる情報 ぱれっと〉

1.16

「大泉出身、動物彫刻で評価 中平四郎の足跡紹介」※〈東毛〉

3.3

「館林美術館特別展示連続講演会「中平四郎の生きた時代ー日本と西洋、彫刻が生まれる場所」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

・上毛新聞シャトル

12.3、12.10、12.20、12.24、12.27、1.1、1.7、1.10、1.14、1.17、1.21、1.24、1.28、1.31、2.11、2.18、2.21、2.25、2.28、3.4、3.7、3.11、3.14

「特別展示「群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎展一師 川上邦世とともに」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉

12.3、12.10、12.20、12.24、1.7、1.10、1.14、1.17、1.21、1.24、1.28、2.18、2.21、2.25、2.28、3.4、3.7、3.11、3.14

「子どもギャラリートーク」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉

12.3、12.10、1.10、1.14、1.17、1.21、1.24、3.4、3.7

「学芸員による作品解説会」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉

12.11

「大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに」展 きょう開幕」※〈GMAT だより〉

12.18

「耳の障害乗り越えた彫刻家、中平氏郎、松本俊介」※〈GMAT だより〉

1.10、1.14、1.17、1.21、1.24

「たてび木曜レクチャー」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉

1.15

「大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに」展ブックガイド※〈GMAT だより〉

2.12
「「県立館林美術館学芸員による美術講座」についてのお知らせ」＊
〈GMAT だより〉

2.18、2.21、2.25
「連続講演会「川上邦世、中平四郎とその周辺」」〈出かけてみませんか
情報 BOX〉

2.18
「県立館林美術館 群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎展一師
川上邦世とともに」

2.19
「美術講座「中平四郎の生涯と作品ー作家が遺した資料よりー」報告」＊
〈GMAT だより〉

3.4
「連続講演会「中平四郎の生きた時代～日本と西洋、彫刻が生まれる場
所」」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉

3.5
「連続講演会「川上邦世、中平四郎とその周辺」ご報告」＊〈GMAT だよ
り〉

3.12
「連続講演会「中平四郎の生きた時代ー日本と西洋、彫刻が生まれる場
所」ご報告」＊〈GMAT だより〉

・東京新聞

12.27
「県立館林美術館で作品展 木彫家・中平四郎の世界紹介」＊

・群馬よみうり

2.11
「気ままブラン“非日常”を感じて、心身ともにリフレッシュしよう！群馬県
立館林美術館」〈おでかけナビ DOKKA へ GO！！〉・両毛新聞

12.2
「中平四郎展 群馬県立館林美術館」＊〈手軽に行けるカルチャードライ
ブ 近県美術館、博物館だより〉

[定期刊行物]

・足利漫我人

12月号、1・2月号、3・4月号
「群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに」
〈県立館林美術館情報〉

・おとな日和

第9号
「特別展示 群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世
とともに」〈イベントガイド〉

・ギャラリー

11月号、12月号、1月号、2月号、3月号、4月号
「群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに」
〈Schedule Museum〉

12月号
「群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに」
〈Exhibition Spot〉

・グラフぐんま

12月号、1月号
「特別展示 群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世
とともに」〈イベントガイド〉

・ぐんま広報

12月
「館林美術館特別展示「中平四郎一師、川上邦世とともに」

・ぐんま情報誌 からっ風

1・2月号
「特別展示 群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世
とともに」〈美術館情報〉

3・4月号
「コレクション展示「油彩・現代彫刻」

・芸術新潮

「特別展示 群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世
とともに」〈invitation exhibition〉

・広報たてばやし

12月1日号
「館林美術館特別展示作品解説会」

・ゴールデンライフ

新春号
「特別展示 群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世
とともに」〈全国の美術館で開催される美術展のスケジュール〉

・新美術新聞

8月1・11 合併号
「中平四郎とその時代(仮)」〈下半期展覧会カレンダー〉

2.11
「木彫家中平四郎一師、川上邦世とともに」

・帝國芸術新聞

3.15
「群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに」
〈全国のギャラリー紹介〉

・博物館研究

12月号、1月号、3月号、4月号
「群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに」
〈展覧会(美術)〉

・パリッシュ

12月号
「群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに」
〈前橋・伊勢崎タウン情報〉

・美術の窓

12月号、1月号、2月号、3月号、4月号
「特別展示 中平四郎一師、川上邦世とともに」〈展覧会情報〉

・美連協ニュース

11月号、2月号、5月号
「特別展示 「中平四郎とその時代」〈加盟館展覧会案内〉

・渡良瀬通信

12月号、1月号、2月号、3月号、4月号

「群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに」

〈渡良瀬インフォメーション〉

・和楽

2月号

「群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに

伝説の彫刻家“牛の平四郎”」〈Le 和 raku〉

・Deli-J

2月号

「群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎一師、川上邦世とともに」

〈イベント〉

◎放送

[ラジオ]

・エフエム群馬

1.5

17:45－17:49 〈ぐんま情報トッピング〉

◎関連事業

・連続講演会

2.27

「川上邦世、中平四郎とその周辺」

講師：藤井明氏（小平市平櫛田中彫刻美術館学芸員）

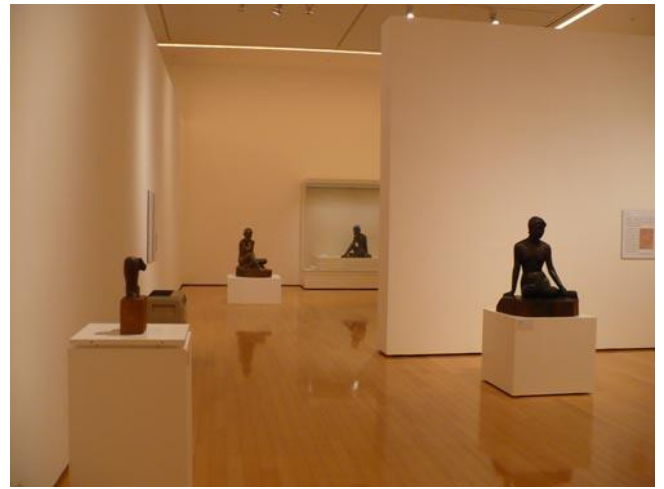
3.6

「中平四郎の生きた時代－日本と西洋、彫刻が生まれる場所」

講師：田中修二氏（大分大学教育福祉科学部准教授）



展示室 4



展示室 4



展示室 3



展示室 2

第1期

展示室1

〔近現代の彫刻Ⅰ〕 4月24日(土)－6月6日(日)

展示室4

〔油彩・西洋の版画〕 4月24日(土)－6月6日(日)

第2期

展示室1

〔近現代の彫刻Ⅱ〕 6月26日(土)－9月5日(日)

〔油彩・藤牧義夫の版画〕 6月26日(土)－9月5日(日)

※〔油彩・藤牧義夫の版画〕は、企画展示「つくりかたから見る美術－コレクション徹底解剖！－」のなかで紹介した。

第3期

展示室1

〔近現代の彫刻Ⅲ〕 9月18日(土)－11月28日(日)

展示室2

〔油彩・現代美術〕 9月18日(土)－11月28日(日)

第4期

展示室1

〔近現代の彫刻Ⅳ〕 12月11日(土)－4月3日(日)

展示室2

〔油彩その他〕 12月11日(土)－4月3日(日)

◎印刷物・会場作成物

[近現代の彫刻Ⅰ]

・会場配布用作品リスト

[油彩・西洋の版画]

・パネル2枚

・会場配布用作品リスト

[近現代の彫刻Ⅱ]

・会場配布用作品リスト

[近現代の彫刻Ⅲ]

・会場配布用作品リスト

[油彩・現代美術]

・会場配布用作品リスト

[近現代の彫刻Ⅳ]

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

[油彩その他]

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

[定期刊行物]

・大人の休日倶楽部ミドル

11月号

「美術館のポリフォニー 群馬県立館林美術館」＊(Museum Cruising)

・ぐんま広報

5月号

「館林美術館テーマ展示「油彩・西洋の版画」

・旅鶴

冬号、春号特別付録

「ロダンの下彫り職人だったポンポンも紹介 群馬 群馬県立館林美術館」(The Tabizuru Store6)

・パリッシュ

「巻頭レポート 身近なアートに触れよう」＊

・文化庁月報

9月号

「群馬県立館林美術館 学芸員・学校訪問鑑賞授業—アートカードセットを使って」＊(いきいきミュージアム 美術館・博物館レポート)

・別冊住宅ジャーナル

冬号

「館林美術館」(美術館に行こう)

◎主要関連記事(長文記事は末尾に＊)

[新聞等]

・上毛新聞

5.23

「館林美術館テーマ展示「油彩・西洋の版画」」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

5.24

「館林美術館別館資料展示より～「フランソワ・ポンポン関連資料より～新聞・雑誌の切り抜き」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

6.29

「館林美術館テーマ展示「油彩・藤牧義夫の版画」」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

6.27、8.22

「館林美術館「フランソワ・ポンポン関連資料より～『コゼット』をめぐる」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

8.24

「館林美術館「作品解説会」」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

5.27、10.14

「子どもギャラリートーク」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

3.8

「館林美術館コレクション展示「油彩・現代美術」」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

・上毛新聞シャトル

8.28

「学校と美術館の連携—「鑑賞」をキーワードに」＊(GMAT だより)

◎放送

[ラジオ]

・エフエム太郎

11.19

8:20—8:25 〈ぐんまいきいき情報〉

近現代の彫刻 I

平成22年4月24日(土)～6月6日(日) 展示室 1

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ボンボン	風見鶏	1908-32	銅	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ボンボン	ほろほろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ボンボン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ボンボン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ボンボン	パン	1923頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923-33	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ボンボン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-28	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ボンボン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
9	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
10	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
11	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951頃	スチール・ロッド	79.0 × 110.5 × 158.5	群馬県立館林美術館
12	宮脇愛子	構成#7	1966	真鍮	120.0 × 23.0 × 70.8	群馬県立館林美術館寄託作品
13	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
14	土谷武	無題	1972	軟鋼	105.0 × 75.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
15	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
16	和南城孝志	Archetypus 空間への旅	1979	ブロンズ	12.0 × 35.0 × 35.0	群馬県立館林美術館寄託作品
17	和南城孝志	Archetypus 円のイメージ	1981	ベルギー産大理石	20.0 × 50.0 × 50.0	群馬県立館林美術館寄託作品
18	和南城孝志	Archetypus 空間への旅	1983	ブロンズ	10.0 × 30.0 × 30.0	群馬県立館林美術館寄託作品
19	アーブラハム・ダーフィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
20	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
21	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
22	ブルーノ・ロメダ	純粋な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館

油彩・西洋の版画

平成22年4月24日(土)～6月6日(日) 展示室 4

油彩

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法(縦×横 cm)	所蔵
1	モイーズ・キスリング	青い花瓶のミモザ	1948	油彩・カンヴァス	62.0 × 74.0	群馬県立館林美術館
2	山口薫	水田を拓く	1956	油彩・カンヴァス	100.0 × 80.5	群馬県立館林美術館
3	鶴岡政男	春の野	1976	油彩・カンヴァス	33.0 × 45.5	群馬県立館林美術館
4	脇田和	花苑	2001	油彩・カンヴァス	97.0 × 130.0	群馬県立館林美術館

西洋の版画

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法(縦×横 cm)	所蔵
5	マルク・シャガール	死せる魂	1923-27 1948刊	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙		群馬県立館林美術館
5-1		(1)チチコフの到着			22.1 × 28.4	
5-2		(9)扉口でのマニーロフとチチコフ			28.7 × 22.1	
5-3		(15)コロボーチカ婦人			30.0 × 22.7	
5-4		(35)支度のできた食卓			27.7 × 21.3	
5-5		(37)チチコフとソバケーヴィッチは取り引きをする			21.3 × 27.8	
5-6		(41)プリューシキンの村			21.3 × 27.8	
5-7		(47)プリューシキンは酒をすすめる			21.3 × 27.7	
5-8		(52)大喜びする寝巻姿のチチコフ			27.7 × 21.1	
5-9		(73)舞踏会にあらわれたチチコフ			22.0 × 27.7	
5-10		(75)ノズドリョーフの暴露			27.7 × 21.0	
6	パブロ・ピカソ	ビュフォン「博物誌」	1942	アクアチント、エッチング、ドライポイント・紙		群馬県立館林美術館
6-1		(1)馬			27.0 × 21.0	
6-2		(3)牡牛			28.0 × 21.8	
6-3		(5)雄羊			27.0 × 22.0	
6-4		(6)猫			26.8 × 21.6	
6-5		(7)犬			29.6 × 24.0	
6-6		(9)鹿			27.5 × 21.0	
6-7		(10)狼			34.4 × 25.0	
6-8		(11)ライオン			27.2 × 21.2	
6-9		(12)猿			28.0 × 22.4	
6-10		(13)シロワシ			27.2 × 22.6	
7	ジョアン・ミロ	トリスタン・ツァラ「独り語る」	1948-50	リトグラフ・紙	38.0 × 28.0	群馬県立館林美術館
7-1		(14)				
7-2		(18)				
7-3		(26)				
7-4		(30)				
7-5		(35)				
7-6		(36)				
7-7		(40)				
7-8		(41)				
7-9		(51)				
7-10		(55)				

近現代の彫刻Ⅱ

平成22年6月26日(土)～9月5日(日) 展示室 1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm			所蔵
1	フランソワ・ボンボン	コゼット	1887	石膏	8.5	× 4.7	× 2.1	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ボンボン	コゼット	1887	石膏	8.5	× 4.7	× 2.1	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ボンボン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0	× 18.0	× 13.0	群馬県立館林美術館
4	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951頃	スチール・ロッド	79.0	× 110.5	× 158.5	群馬県立館林美術館
5	土谷武	無題	1972	軟鋼	105.0	× 75.0	× 160.0	群馬県立館林美術館
6	土谷武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0	× 130.0	× 160.0	群馬県立館林美術館
7	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5	× 104.1	× 62.2	群馬県立館林美術館
8	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0	× 122.0	× 112.0	群馬県立館林美術館
9	ブルーノ・ロメダ	純粋な大円	2003	ブロンズ	188.0	× 191.2	× 20.0	群馬県立館林美術館



近現代の彫刻Ⅲ

平成22年9月18日(土)～11月28日(日) 展示室 1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm			所蔵
1	フランソワ・ボンボン	ラクダ	1906 - 1930	ブロンズ	15.6	× 23	× 6	群馬県立館林美術館
2		ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8	× 23.4	× 10.7	群馬県立館林美術館
3		牝豚	1918 - 1925	ブロンズ	11	× 20	× 5.5	群馬県立館林美術館
4		ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2	× 15.8	× 7	群馬県立館林美術館
5		雉鳩	1919	ブロンズ	24	× 8.7	× 9.5	群馬県立館林美術館
6		シロクマ	1921 - 1924	無釉硬質磁器	20.4	× 39.4	× 7.3	群馬県立館林美術館
7		シロクマ	1923 - 1933	大理石	24.7	× 45.5	× 11.7	群馬県立館林美術館
8		シロクマ	1923 - 1933	合金	24	× 44.8	× 12.4	群馬県立館林美術館
9		シロクマ	1923 - 1933	ブロンズ	12	× 23.5	× 5	群馬県立館林美術館
10		パン	1923 頃	ブロンズ	26	× 29	× 12	群馬県立館林美術館
11		フクロウ	1923	ブロンズ	17.7	× 7.9	× 8.2	群馬県立館林美術館
12		立って頭を下げているイン ドの牝鹿	1927 - 1928	ブロンズ	12.5	× 20.8	× 8	群馬県立館林美術館
13		大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25	× 81	× 14	群馬県立館林美術館
14	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4	× 7.4	× 5.7	群馬県立館林美術館
15		羊	1960	ブロンズ	19.8	× 24	× 11.3	群馬県立館林美術館
16		後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20	× 9	× 7	群馬県立館林美術館
17		馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6	× 12	× 6.5	群馬県立館林美術館
18		小さな人体	1983	ブロンズ	14.2	× 6	× 5.4	群馬県立館林美術館
19		立っている少女	1981	ブロンズ	23.7	× 5.9	× 7.6	群馬県立館林美術館
20	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5	× 32.2	× 30	群馬県立館林美術館
21		魚/噴水	1929	ブロンズ	40.7	× 40.5	× 13.3	群馬県立館林美術館
22	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951 頃	スチール・ロッド	79.0	× 110.5	× 158.5	群馬県立館林美術館
23	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43	× 35	× 5	群馬県立館林美術館
24	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7	× 40.7	× 40.7	群馬県立館林美術館
25	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5	× 104.1	× 62.2	群馬県立館林美術館
26	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0	× 122.0	× 112.0	群馬県立館林美術館
27	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4	× 38	× 26.6	群馬県立館林美術館
28	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0	× 130.0	× 160.0	群馬県立館林美術館



油彩・現代美術

前期展示 平成22年9月18日(土)－10月24日(日)

後期展示 平成22年10月26日(火)－11月28日(日)

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法(縦×横×奥行)cm	所蔵	前期	後期
1	戸谷成雄	《景体のバロック》のためのドローイング 全16点	2002	鉛筆・紙	25.7×18	群馬県立館林美術館	前後期で展示替え	
2	戸谷成雄	景体のバロック	2002年	木(間伐材)、灰、アクリル	200×59×57	群馬県立館林美術館	○	○
3	戸谷成雄	景体のバロック	2002年	木(間伐材)、灰、アクリル	200×73×54	群馬県立館林美術館	○	○
4	戸谷成雄	景体のバロック	2002年	木(間伐材)、灰、アクリル	200×52×42	群馬県立館林美術館	○	○
5	戸谷成雄	景体のバロック	2002年	木(間伐材)、灰、アクリル	200×64×32	群馬県立館林美術館	○	○
6	戸谷成雄	景体のバロック	2002年	木(間伐材)、灰、アクリル	200×48×39	群馬県立館林美術館	○	○
7	戸谷成雄	景体のバロック	2002年	木(間伐材)、灰、アクリル	200×55×39	群馬県立館林美術館	○	○
8	戸谷成雄	景体のバロック	2002年	木(間伐材)、灰、アクリル	200×73×61	群馬県立館林美術館	○	○
9	戸谷成雄	景体のバロック	2002年	木(間伐材)、灰、アクリル	200×69×52	群馬県立館林美術館	○	○
10	猪熊弦一郎	猫と二人の子供	1952年	油彩・カンヴァス	90.7×72.5	群馬県立館林美術館	○	○
11	香月泰男	尾花	1954年	油彩・カンヴァス	72.8×50	群馬県立館林美術館	○	○
12	山口薫	森	1936年	油彩・カンヴァス	72.7×60.6	群馬県立館林美術館	○	○
13	鶴岡政男	涙する人	1968年	油彩・カンヴァス	上162×130.3	群馬県立館林美術館	○	○
14	森芳雄	母子像	1979年	油彩・カンヴァス	130×97.5	群馬県立館林美術館	○	○
15	野見山暁治	その時	1997年	油彩・カンヴァス	194×131	群馬県立館林美術館	○	○
16	伊庭靖子	Untitled	2003年	油彩・カンヴァス	120×160	群馬県立館林美術館寄託作品	○	○
17	金田実生	冬の呼吸	2004年	水溶性クレヨン、鉛筆・紙	155×174	群馬県立館林美術館	○	
18	フランソワ・ラフラン	リネア	1993年	エンボス、石・紙	68×47	群馬県立館林美術館	○	
19	フランソワ・ラフラン	ソラダ	1994年	エンボス、木片・紙	40×45	群馬県立館林美術館	○	
20	フランソワ・ラフラン	コルバズ	1995年	エンボス、木片・紙	68×54	群馬県立館林美術館	○	
21	フランソワ・ラフラン	トスカーナ・プロヴァンス	1995年	エンボス、木片・紙	68×54	群馬県立館林美術館	○	
22	フランソワ・ラフラン	メレーズ	1995年	エンボス・紙	68×54	群馬県立館林美術館	○	
23	ヘンリー・ムーア	動物園の動物たち	1981-82年	エッチング・紙	53×45	群馬県立館林美術館		○
24	町田久美	ひとり	2003年	墨・紙	130×97.5	群馬県立館林美術館寄託作品	○	
25	大竹利絵子	へび	2006年	木	31×21.5×	群馬県立館林美術館寄託作品		
26	松井冬子	無題 (同世代のエジプト人)	2007年	鉛筆・紙	70×60	群馬県立館林美術館寄託作品	○	
27	松井冬子	無題(トメス4世)	2007年	鉛筆・紙	60×70	群馬県立館林美術館寄託作品		○
28	カンノサカン	無題	2007年	アクリル、ウレタン・塗装したカンヴァス	30×30	群馬県立館林美術館寄託作品	○	○
29	日野之彦	パーマ	2007年	鉛筆・紙	103.5×72.5	群馬県立館林美術館寄託作品	○	
30	日野之彦	縞の服	2008年	鉛筆・紙	101.6×50.4	群馬県立館林美術館寄託作品		○
31	川島秀明	stare	2008年	アクリル・カンヴァス	50×72.7	群馬県立館林美術館寄託作品	○	○
32	加藤泉	無題	2009年	油彩・カンヴァス	33.3×24	群馬県立館林美術館寄託作品	○	○



近現代の彫刻Ⅳ

平成22年12月11日(土)～4月3日(日) 展示室 1

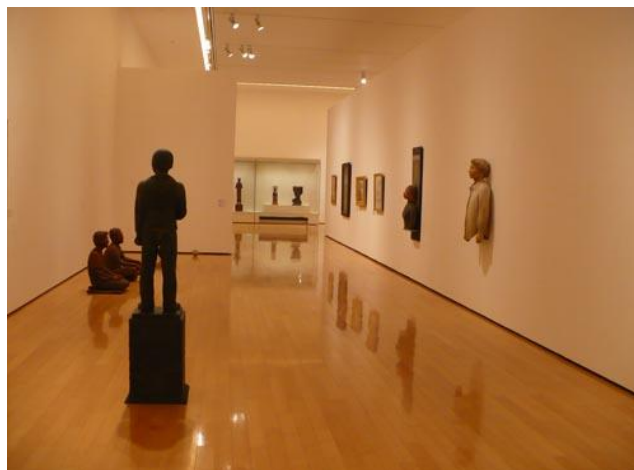
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ボンボン	ラクダ	1906 - 1930	ブロンズ	15.6 × 23 × 6	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ボンボン	ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ボンボン	牝豚	1918	ブロンズ	11 × 20 × 5.5	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ボンボン	ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ボンボン	雉鳩	1919	ブロンズ	24 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923 - 1933	大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923 - 1933	ブロンズ	12 × 23.5 × 5	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ボンボン	バン	1923 頃	ブロンズ	26 × 29 × 12	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ボンボン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ボンボン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927 - 1928	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8	群馬県立館林美術館
11	フランソワ・ボンボン	大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25 × 81 × 14	群馬県立館林美術館
12	フランソワ・ボンボン	鳩「ニコラ」	1926 - 1927	石膏	30.4 × 27.7 × 17.7	群馬県立館林美術館
13	フランソワ・ボンボン	切断された巣の雌鳩	1928 - 1931	石膏	10.6 × 29.4 × 19.8	群馬県立館林美術館
14	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30	群馬県立館林美術館
15	チャーナ・オルロフ	魚/噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
16	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951 頃	スチール・ロッド	79.0 × 110.5 × 158.5	群馬県立館林美術館
17	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43 × 35 × 5	群馬県立館林美術館
18	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
19	アーブラハム・ダーフィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982 (1986鋳造)	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28	群馬県立館林美術館
20	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
21	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
22	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38 × 26.6	群馬県立館林美術館
23	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館



油彩その他

平成22年12月11日(土)～4月3日(日) 展示室 2

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法(縦×横×奥行) cm			備考
1	小杉放庵	秋果童子	1926(大正15)	油彩・カンヴァス	71.4	×	51.5	群馬県立館林美術館
2	金山平三	孀恋村	1935-1945(昭和10-20)	油彩・カンヴァス	45.5	×	65.1	群馬県立館林美術館
3	小糸源太郎	けしの花	1933(昭和8)	油彩・カンヴァス	114.4	×	77.2	群馬県立館林美術館
4	猪熊弦一郎	猫と魚	1953-1954(昭和28-29)	油彩・カンヴァス	60.5	×	50	群馬県立館林美術館
5	鶴岡政男	静かなる夜(山と月と湖)	1955(昭和30)	油彩・カンヴァス	53	×	65.2	群馬県立館林美術館
6	三輪途道	YUUKO	1996-2004(平成8-16)	檜、漆、膠、白土、 顔料	153	×	48 × 25	群馬県立館林美術館寄託作品
7	三輪途道	縄文からの道	2000(平成12)	檜、漆、膠、白土、 顔料	12	×	25 × 16	群馬県立館林美術館寄託作品
8	三輪途道	TOYOKO -2000.1.12.Age60-	2000(平成12)	檜、漆、膠、白土、 顔料	102	×	50 × 28	群馬県立館林美術館寄託作品
9	三輪途道	猿を待ってた日	2000(平成12)	檜、漆、膠、白土、 顔料	23	×	16.5 × 23	群馬県立館林美術館寄託作品
10	三輪途道	下仁田ーおじい	2003(平成15)	檜、漆、膠、顔料	79	×	59 × 64	群馬県立館林美術館寄託作品
11	三輪途道	下仁田ーおばあ	2003(平成15)	檜、漆、膠、顔料	83	×	50 × 56	群馬県立館林美術館寄託作品
12	三輪途道	猫の抜け道	2005(平成17)	檜、漆、膠、顔料	25	×	68 × 14	群馬県立館林美術館寄託作品
13	三輪途道	発電所のなめくじ	2005(平成17)	檜、漆、膠、白土、 顔料	4	×	6 × 14	群馬県立館林美術館寄託作品
14	三輪途道	乳母と私Ⅱ	2007(平成19)	檜、漆、膠、白土、 顔料	90	×	58 × 71	群馬県立館林美術館寄託作品
15	三輪途道	父子像Ⅱ	2007(平成19)	檜、漆、膠、白土、 顔料	159	×	99 × 8	群馬県立館林美術館寄託作品



E 彫刻家のアトリエ（別館）展示記録

彫刻家のアトリエの展示ケース内にて資料（一部複製）を展示。展示ごとに配布用解説を作成した。

第1期

「フランソワ・ポンポン関連資料より～新聞・雑誌の切り抜き」

4月24日（土）— 6月6日（日）

展示資料：新聞・雑誌の切り抜き（複製）16点

第2期

「フランソワ・ポンポン関連資料より～《コゼット》をめぐって」

6月26日（土）— 9月5日（日）

展示資料：写真（複製）3点、手紙（複製）6点

第3期

「フランソワ・ポンポン関連資料より～《シロクマ》をめぐって」

9月18日（土）～11月28日（日）

展示資料：写真9点、新聞・雑誌の切り抜き（複製）1点、書類（複製）1点

第4期

「フランソワ・ポンポン関連資料より～さまざまな鳥の作品をめぐって」

12月11日（土）～4月3日（日）

展示資料：写真（複製）7点、絵はがき（複製）6点



F 観覧者数一覧表

企画展示(特別展示を含む)

	有料観覧者						無料観覧者						
	個人			団体			有料 合計	小中 生	学校 団体	身体障 害者等	その他	無料 合計	観覧者 合計
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計							
孤高の日本画家、礪 部草丘・四方田草炎・ 大山魯牛ー自然をとら える独自のまなざしー 4/1ー4/4 4日	130	6	136	0	0	0	136	24	0	12	200	236	372
小室翠雲(1874ー 1945)ー館林に生まれ 近代南画の大家にー 4/24ー6/6 39日	2,285	65	2,350	49	193	242	2,592	168	51	185	2,152	2,556	5,148
つくりかたから見る美 術ーコレクション徹底 解剖！ー 6/26ー9/5 63日	3,298	273	3,571	200	70	270	3,841	2,542	68	162	5,173	7,945	11,786
両毛の美術館名品展 ーこんな素敵なコレク ションがあった。ー 9/18-11/28 62日	2,406	68	2,474	169	142	311	2,785	301	231	187	3,322	4,041	6,826
群馬県大泉町に生ま れた木彫家 中平四郎 ー師、川上邦世ととも に 12/11ー 86日	2,468	93	2,561	171	0	171	2,732	214	4	201	2,200	2,619	5,351
企画展示 計 253日	10,587	505	11,092	589	405	994	12,086	3,249	354	747	13,047	17,397	29,483

平成22年度の総観覧者数は、29,483人である。

A 講演会

1. 記念講演会

開催日	名称 演題	講師	会場	参加者数
5.2	小室翠雲展記念講演会「谷文晁と渡辺崋山－田崎草雲・小室翠雲の尊敬と憧憬」	河野元昭氏(東京大学名誉教授)	講堂	78
8.1	つくりかたら見る美術展記念講演会「絵画の解剖－制作手順を追って絵を見てみよう－」	森田恒之氏(国立民族学博物館名誉教授・愛知県立芸術大学客員教授)	研修室	22

2. 連続講演会

開催日	演題	講師	会場	参加者数
10.2	足利市立美術館とコレクション	江尻潔氏(足利市立美術館学芸員)	講堂	16
10.16	大川美術館とコレクション	小此木美代子氏(大川美術館学芸員)	講堂	16
10.30	栗田美術館とコレクション	栗田俊英氏(栗田美術館館長)	講堂	12
11.13	佐野市立吉澤記念美術館とコレクション	末武さとみ氏(佐野市立吉澤記念美術館学芸員)	講堂	12
11.27	館林市とコレクション	岡屋紀子氏(館林市史編さんセンター)	講堂	12
2.27	川上邦世、中 平四郎とその周辺	藤井明氏(小平市平櫛田中彫刻美術館学芸員)	講堂	14
3.6	中平四郎の生きた時代－日本と西洋、彫刻が生まれる場所	田中修二氏(大分大学教育福祉科学部准教授)	講堂	23

B 作品解説会・ギャラリートーク・ギャラリーツアー

1. 学芸員による作品解説会

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
4.27	小室翠雲(1874－1945)展★	中田宏明、神尾玲子	展示室	2
4.29	小室翠雲(1874－1946)展	中田宏明	展示室	18
5.9	小室翠雲(1874－1947)展	中田宏明	展示室	14
5.19	小室翠雲(1874－1948)展	中田宏明	展示室	13
5.29	小室翠雲(1874－1949)展	中田宏明	展示室	31
6.1	小室翠雲(1874－1950)展	中田宏明	展示室	17
7.4	つくりかたから見る美術	松下由里	展示室	17
7.21	つくりかたから見る美術	松下由里	展示室	4
7.29	つくりかたから見る美術	松下由里	展示室	11
8.17	つくりかたから見る美術★	松下由里、神尾玲子	展示室	7
8.28	つくりかたから見る美術	松下由里	展示室	12
9.23	りょうもうの美術館名品展	染谷滋	展示室	17
9.24	りょうもうの美術館名品展★	染谷滋、神尾玲子	展示室	3
10.9	りょうもうの美術館名品展	染谷滋	展示室	7
10.24	りょうもうの美術館名品展	染谷滋	展示室	12
11.2	りょうもうの美術館名品展	染谷滋	展示室	3
11.10	りょうもうの美術館名品展	染谷滋	展示室	13
12.12	群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎	神尾玲子	展示室	18
1.14	群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎★	神尾玲子、松下由里	展示室	4
1.18	群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎	神尾玲子	展示室	11
2.26	群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎	神尾玲子	展示室	9
3.5	群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎	神尾玲子	展示室	5
3.10	群馬県大泉町に生まれた木彫家 中平四郎	神尾玲子	展示室	5

★印は教職員のための作品解説会

※参加者のあった回のみ記した。

2. 子どもギャラリートーク

開催日	解説者	会場	参加者数
7.3	松下由里	展示室	2
7.17	神尾玲子	展示室	2
7.31	松下由里	展示室	1
8.14	神尾玲子	展示室	7
8.21	松下由里	展示室	4
9.4	松下由里	展示室	1
10.2	松下由里	展示室	3
11.6	松下由里	展示室	1
1.15	松下由里	展示室	3
2.19	神尾玲子	展示室	2

※参加者のあった回のみ記した。

3. ギャラリツアー

開催日	演題	解説者	会場	参加者数
8.18	画材の引き出し博物館－画材の謎をひもとく－	降旗千賀子氏(目黒区美術館学芸主査)	展示室	32



小室翠雲展記念講演会



つくりかたら見る美術展記念講演会



連続講演会



ギャラリツアー

C ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
7.11	つくりかた体験ワークショップー自然にやさしい銅版画技法ー	マニックス・エヴァレート氏 (版画家)	ワークショップ 室、	22

つくりかた体験ワークショップー自然にやさしい銅版画技法ー

企画展示「つくりかたから見る美術ーコレクション徹底解剖！ー」の開催に伴い、ベルギーの版画家マニックス・エヴァレート氏を講師に招き、ノントキシック技法とよばれる、自然にやさしい銅版画技法を学び、銅版画の多様な制作方法を体験した。芸術家の制作の工夫や、ものを作り出す手順について、体験を通じて知ることにより、美術館における版画鑑賞をより楽しいものにするを目的とした。



つくりかた体験ワークショップ

D 創作体験コーナー みんなのアトリエ

夏の企画展示会期中の毎週木曜日に、「創作体験コーナー みんなのアトリエ」を全6回(7月22日ー8月26日)開催した。同会期中には、コレクション展示で藤牧義夫の木版画を展示し、講堂では地域小学生の木版画作品を展示している。このことから、版画作品鑑賞への理解を深めることを目的に、木版画の摺り体験を内容にしている。特に今回は、板目木版と木口木版をひとつの作品に併用して制作する版画家、山本博氏に注目した。参加者は、山本氏の作品を通して、板目木版の柔らかい仕上がりと木口木版の硬質な質感の違いを実見し、さらに簡単な摺りの体験によって、木版の多様性とその表現の違いについて実感できるようにした。合計437名が参加した。



みんなのアトリエ

E たてび木曜レクチャー・学芸員による美術講座

1. たてび木曜レクチャー「西洋美術史入門」

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.13	ドナテッロ	神尾玲子	講堂	14
5.20	ミケランジェロ	神尾玲子	講堂	12
5.27	ジャンボローニャ	神尾玲子	講堂	7
6.3	カラヴァッジオ	中田宏明	講堂	15
10.7	ブッサン	松下由里	講堂	8
10.14	フェルメール	松下由里	講堂	32
10.21	ダヴィッド	宮崎克己(美術史家)*	講堂	16
10.28	ドラクロワ	宮崎克己(美術史家)*	講堂	35
11.4	ジャン＝フランソワ・ミレー	宮崎克己(美術史家)*	講堂	13
11.11	ホルバイン	松下由里	講堂	10
11.18	ホガース	松下由里	講堂	10
11.25	ジョン・エヴァレット・ミレイ	松下由里	講堂	12
1.13	ドーミエ	染谷 滋	講堂	15
1.20	マネ	松下由里	講堂	15
1.27	モネ	神尾玲子	講堂	20

*は、館外の美術史家に依頼した。

2. 学芸員による美術講座

開催日	名称	講師	会場	参加者数
2.13	中 平四郎－作家が遺した資料より－	神尾玲子	講堂	17
2.20	藤牧義夫－隅田川画卷について－	松下由里	講堂	10

※参加者のあった回のみ記した。



たてび木曜レクチャー「ドラクロワ」



学芸員による美術講座「中 平四郎－作家が遺した資料より－」

F 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れた活動を目指しているため、学校からの要望に可能な限り応え、研究授業の受け入れや、学校の授業における連携などを行った。また、解説を希望する団体については、観覧前に概要説明を行った。

1. 学校との連携事業

(1)連携授業等

開催日 名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
6.15-17 職場体験	白鷗大学足利中学校2年	神尾玲子	館内	4
6.11 学校訪問鑑賞授業	桐生市立清流中学校2年	神尾玲子	桐生市立清流中学校	75
6.22 学校訪問鑑賞授業	桐生市立清流中学校2年	神尾玲子	桐生市立清流中学校	76
9.1-3 職場体験	館林市立多々良中学校2年	神尾玲子	館内	1
9.29 学校訪問鑑賞授業	大泉町立大泉東小学校6年生	神尾玲子	大泉東小学校	67
10.13 総合学習	館林市立第八小学校	定松晶子	研修室、展示室	27
10.2 美術館見学	桐生市立広沢小学校5年生	定松晶子	講堂、展示室	119
10.21 職場体験	館林市立第四中学校2年生	定松晶子	館内	6
11.2 美術館見学	群馬県立あさひ養護学校	神尾玲子	講堂、展示室	17
11.11-12 職場体験	館林市立第二中学校2年	佐藤聖子	館内	1
11.16 美術館見学	桐生市立東小学校5年生	染谷滋	講堂・展示室	71
11.16 学校訪問鑑賞授業	桐生市立桜木中学校1年	神尾玲子	桐生市立桜木中学校	71
11.26 学校訪問鑑賞授業	桐生市立桜木中学校2年	神尾玲子	桐生市立中央中学校	36

(2)団体解説のみを実施

開催日 学校名	担当	会場	参加者数
4.28 中央工学校建築設計科	神尾玲子	講堂、展示室	74
5.15 桐生大学短大アートデザイン学科	松下由里	研修室、展示室	20
7.6 中央工学校建築系学科	神尾玲子	講堂、展示室	39
7.29 板倉町立板倉中学校美術部	神尾玲子	研修室、展示室	11
8.20 高崎工業高等学校美術部	神尾玲子	研修室、展示室	8
9.29 日本工学院専門学校	松下由里	講堂、展示室	55
10.20 足利工業大学	福田香織	講堂、展示室	67

(3)主任会、研修会の実施、参加

開催日 名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
5.14 主任会	館林市小学校	神尾玲子	研修室	13
6.1 主任会	邑楽郡小学校	神尾玲子	研修室	18
8.19 図画工作科・美術科研修講座	県内の小中高・中等・特の教員	神尾玲子	研修室	30
9.24 東部管内指導主事研修会	東部管内の指導主事	神尾玲子	講堂	50
10.8 主任会	館林市小学校	神尾玲子	研修室	13
11.19 主任会	邑楽郡小学校	神尾玲子	研修室	18
11.20 研修会	館林市立第一小学校教職員	松下由里、神尾玲子	研修室、展示室	20
1.14 主任会	館林市小学校	神尾玲子	研修室、展示室	13
2.22 主任会	邑楽郡小学校	神尾玲子	大泉町立南小学校	18

2. 団体観覧者への解説

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	1	3	2	5	4	3	9	7	2	3	3	0	42
人数	74	168	24	187	34	77	151	108	42	79	50	0	994

G 地域に開かれた美術館づくり

館林美術館の施設と機能を活かして、地区小学生の健全育成、芸術創作活動の振興、美術鑑賞力の向上を図るとともに、地域に開かれた美術館づくりを推進するために、館林が生んだ木版画家である藤牧義夫にちなみ、館林市及び邑楽郡5町の各市町及び各市町教育委員会の協力を得て、「第2回 日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念館林邑楽地区小学生木版画展」を開催した。会場は講堂を使用し、参加小学校全27校を一週間6会期に分けて展示した。31日間の全会期中に、合計3,057人が観覧した。

会期	開催期間	参加校	入室者数
第1期	7.17-7.22	館林市立第五小学校、館林市立第六小学校、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校	359
第2期	7.24-7.29	館林市立第九小学校、館林市立第十小学校、館林市立美園小学校、板倉町立東小学校	410
第3期	7.31-8.5	板倉町立西小学校、板倉町立南小学校、板倉町立北小学校、明和町立明和東小学校、明和町立明和西小学校、千代田町立東小学校、千代田町立西小学校	575
第4期	8.7-8.12	大泉町立東小学校、大泉町立西小学校、大泉町立南小学校、大泉町立北小学校	514
第5期	8.14-8.19	邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校	678
第6期	8.21-8.26	館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校	521



ポスター



展示会場

◎主要関連記事(長文記事は末尾に*)

小学生木版画展

[新聞等]

8.17

「4色の版画刷れたよ 講師に山本さん 体験コーナーが人気 館林美術館」*

[定期刊行物]

・博物館研究

7月号

「第2回 日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念館林邑楽地区小学生木版画展」「みんなのアトリエ 版画家 山本博氏」〈展覧会〉

教育普及事業・その他

[新聞等]

・朝日ぐんま

1.14

「館林美術館でニューイヤーコンサート 29日群響メンバー出演」*〈イベント〉

・上毛新聞

5.9、11.2

「館林美術館たてび木曜レクチャー「西洋美術の巨人たち」〈ぐんまちゃんの掲示板〉

6.11

「県立文化施設に意見を「聞く会」委員募集」*

8.5

「5文化施設でスタンプラリー 31日まで県」

9.9

「両毛舞台に宝探し 誘客や地域間交流で 18日からPR イベント」〈東毛〉

12.18

「農民画家築比地正司について 染谷滋「群馬のミレー」若き日、福沢の感化」*〈文化〉

1.9

「群響4人の弦楽四重奏 29日に館林美術館」*

1.25

「大川美術館館長 寺田勝彦 鑑賞する習慣を育てて」*〈視点〉

2.27

「美術館や博物館巡る観光を提案 県がマップ 20ルート設定高速道SAで配布」*

2.28

「多々良駅(東武伊勢崎線)水面の優雅な白い翼 心を癒やす芸術点在」*〈駅からウォーク〉

・上毛新聞シャトル(館林ニュース)

4.2

「光雲ら木彫作品鑑賞 学芸員の神尾さん歴史や技法解説」*

4.10

「館長就任のごあいさつ」*〈GMAT だより〉

5.1

「たてび木曜レクチャー「西洋美術の巨人たち」15人の作家を時代順に」*〈GMAT だより〉

5.26

「美術館や製糸場見学しませんか 館林、富岡の3施設7月3日にバスツアー」*

5.29

「たてび木曜レクチャー「西洋美術の巨人たち」第1回ドナテッロ・第2回ミケランジェロ・第3回ジャンボローニャご報告」*〈GMAT だより〉

6.19

「雨の絵」*〈GMAT だより〉

7.3

「作品調査から「知られざる美」のコレクターたちとの出会いへ」*〈GMAT だより〉

9.11

「栃木県立美術館と足利市立美術館展覧会のご紹介」*〈GMAT だより〉

9.20

「両毛地区巡り宝箱探し 11市町の協議会 誘客目指し“ゲーム”」*

10.23

「たてび木曜レクチャー 西洋美術の巨人たち「プッサン」「フェルメール」ご報告」*〈GMAT だより〉

10.30

「地域の展覧会、映画会、コンサート」*〈GMAT だより〉

11.6

「たてび木曜レクチャー 西洋美術の巨人たち「ダヴィッド」「ドラクロワ」ご報告」*〈GMAT だより〉

12.4

「たてび木曜レクチャー 西洋美術の巨人たち「ホルバイン」「ホガース」「ミレイ」ご報告」*〈GMAT だより〉

12.25

「「年越し」する展覧会」*〈GMAT だより〉

1.8

「フラナガンの野ウサギを探して」*〈GMAT だより〉

1.22

「たてび木曜レクチャー 西洋美術の巨人たち「ドーミエ」ご報告」*〈GMAT だより〉

1.29

「たてび木曜レクチャー「西洋美術の巨人たち」第14回エデュアール・マネご報告」*〈GMAT だより〉

2.8

「たてび木曜レクチャー「西洋美術の巨人たち」第15回(最終回)「モネ」ご報告」*〈GMAT だより〉

2.11、2.18

「美術講座「藤牧義夫～隅田川絵巻について」〈出かけてみませんか 情報BOX〉

2.26

「美術講座「藤牧義夫隅田川絵巻について」報告」*〈GMAT だより〉

2.28、3.7、3.11

「美術講座「金山平三～旅の画家」〈出かけてみませんか 情報 BOX〉・
読賣新聞

6.18

「注目集める「美環境」を 群馬大学名誉教授 稲葉清毅」＊〈随想ぐん
ま〉

2.24

「ミュージアムへ行こう 県がマップ 回遊ルート提案」＊

[定期刊行物]

・美連協ニュース

2月号

「ポスト団塊世代の館長職事始め 人員削減で一人三役の日々 ポンポ
ン作品群に期待込め」(染谷滋)＊〈リレーエッセイ〉

11月号

「欧州博物館調査(第四回)フランスの学芸員の制度について 群馬県立
館林美術館学芸員 伊藤香織」＊〈国際動向〉

◎群馬県立館林美術館平成23年度事業案内

B4判変形4つ折り

平成23年3月発行

発行部数 25,000部



I ボランティア

夏季の事業、「みんなのアトリエ 多版本版画摺り体験」の開催時に、以下のとおりボランティアを募集した。

期日	名称	人数
7.22-8.26	制作補助ボランティア	22

J 友の会(群馬県立館林美術館友の会)

1. 運営会議

- (1) 総会(6月26日)
- (2) 理事会(6月26日)
- (3) 運営委員会(4回 4月28日、5月28日、7月7日、10月27日)
事業の企画運営等具体的事項の協議

2. 美術館協力支援事業

- (1) ミュージアム・ショップの運営(平成22年4月～平成23年3月)
展覧会図録、絵はがき、美術関係書籍その他の展示販売をとおり、来館者へのサービスに努めた。
- (2) 研究図書の提供
美術館活動に必要な図書の提供を行った。

3. 会員対象事業

- (1) 美術館情報の提供
会員に対し、展覧会や講座など、美術館事業の広報資料や友の会からのお知らせを随時送付。
- (2) ミュージアムツアーの開催(9月17日)
美術の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者38名。訪問先:長野県信濃美術館 東山魁夷館、善光寺
- (3) オータムコンサート(10月23日)
音楽の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者124名。出演者:Ren(ケーナ奏者)
- (4) ニューイヤーコンサート(1月29日)
音楽の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者117名。出演者:(財)群馬交響楽団メンバー
ヴァイオリン奏者(カオ・シャン、棚田敦子)、ヴィオラ奏者(池田美代子)、チェロ奏者(ファニー・ブザルグ)

A 美術作品

1. 作品収蔵状況 平成23年3月31日現在

作家区分 収蔵方法 部門	県内作家			国内作家			外国作家			総計
	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
日本画	4	1	5	1	1	2	0	0	0	15
油彩その他	7	0	7	18	2	20	6	0	6	33
水彩・素描	10	6	16	3	0	3	8	0	8	27
版画	22	0	22	289	252	541	45	0	45	608
写真	0	0	0	60	7	67	12	0	12	79
彫刻	5	0	5	4	2	6	125	0	125	136
染織・工芸	5	3	8	3	0	3	4	0	4	15
計	53	10	63	378	264	642	200	0	200	913

2. 平成22年度 収蔵作品

平成22年度においては、油彩2点(寄贈)を新たに収蔵した。

各作品データは、以下の順に記す。

- ・作者名(生没年)
- ・作品名
- ・制作年(日本人作家の場合は元号も付す)
- ・技法・材質(・形状)
- ・寸法(縦×横)
- ・サイン、年記、その他の記載事項
- ・受入種別
- ・受入番号

< 油彩その他 >

久野和洋(1938～)
KUNO Kazuhiro
地の風景・道のかたち
2002～2003(平14～15)年
油彩・カンヴァス
145.5×145.5
作者 寄贈
904



久野和洋(1938～)
KUNO Kazuhiro
地の風景・雨後
2006～2007(平18～19)年
油彩・カンヴァス
145.5×112.0
作者 寄贈
905



3. 平成22年度 寄託作品

作者名	作品名	* 新規寄託 ** 年度途中に寄託解除	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横cm)		
伊庭靖子	Untitled		1995	油彩・カンヴァス	162	×	123
伊庭靖子	Untitled		1995	油彩・カンヴァス	162	×	123
伊庭靖子	Untitled		2001	油彩・カンヴァス	180	×	180
伊庭靖子	Untitled		2003	油彩・カンヴァス	120	×	160
藤牧義夫 関連資料	全21点						
清宮質文	葦		1958	木版・紙	21.7	×	18.8
清宮質文	むかしのはなし		1958	木版・紙	8.3	×	16.3
清宮質文	古い日		1960	木版・紙	17.2	×	14.2
清宮質文	幼きもの		1963	木版・紙	24.1	×	21.3
清宮質文	九月の海辺		1970	木版・紙	13.3	×	23.3
清宮質文	北辺の小屋		1971	ガラス絵	16.6	×	22.0
清宮質文	暗い夕日(暗い夕日1)		1972	木版・紙	21.0	×	19.2
清宮質文	冬(暗い夕日2)		1972	木版・紙	23.0	×	21.8
清宮質文	トンネルの出口(暗い夕日3)		1972	木版・紙	23.4	×	20.1
清宮質文	虜囚の窓(暗い夕日4)		1972	木版・紙	24.3	×	20.0
清宮質文	夕方の静物(暗い夕日5)		1972	木版・紙	23.0	×	21.9
清宮質文	窓のカンテラ(暗い夕日6)		1972	木版・紙	24.2	×	15.0
清宮質文	入日(暗い夕日7)		1972	木版・紙	16.2	×	25.8
清宮質文	町外れ(暗い夕日8)		1972	木版・紙	16.6	×	22.0
清宮質文	夕日の静物(暗い夕日9)		1972	木版・紙	13.7	×	22.2
清宮質文	壠の中の魚(暗い夕日10)		1972	木版・紙	20.0	×	22.6
清宮質文	深夜の蠟燭		1974	木版・紙	18.0	×	15.2
清宮質文	星占い ～去りゆく凶星～		1975	木版・紙	15.2	×	18.0
清宮質文	秋の夕日		1976	木版・紙	16.2	×	14.1
清宮質文	作品		1981	水彩・紙	10.0	×	16.0
清宮質文	黑夜の鳥		1982	木版・紙	12.5	×	14.0
清宮質文	われむかしの日いいしえの年をおもえり		1982	木版・紙	15.2	×	13.0
清宮質文	夢の中へ		1983	木版・紙	15.5	×	6.8
清宮質文	夕べの道 **		1983	水彩・紙	17.4	×	25.4
清宮質文	古い暦 **		1983	モノタイプ・紙	18.5	×	14.1
清宮質文	失題(モノタイプ)		1983	モノタイプ・紙	20.8	×	16.2
清宮質文	失題(モノタイプ)		1983	モノタイプ・紙	19.3	×	11.2
清宮質文	失題(モノタイプ)		1983	モノタイプ・紙	21.6	×	16.2
清宮質文	夕日のとり		1985	木版・紙	7.8	×	16.0
清宮質文	なんじの革囊にわが涙を		1985	木版・紙	17.5	×	16.9
清宮質文	晩夏		1985	木版・紙	6.8	×	7.0
清宮質文	秋の午後		1985	木版・紙	16.8	×	27.2
清宮質文	緑の太陽 **		1988	水彩・紙	16.8	×	29.2
清宮質文	冬の夕(絶筆)		1991	ガラス絵	12.2	×	16.2
清宮質文	未完(絶筆)		1991	ガラス絵	13.0	×	16.6
清宮質文	歳月			水彩・紙			
清宮質文	失題		1970	木版画	18.9	×	25.9
清宮質文	蝶		1963	木版・紙	24.6	×	22.1
駒井哲郎・小磯良平・清宮質文・浜田知明	駒井哲郎のオマージュ		1982	エッチング他	43.6	×	34.6
南城一夫	フルート奏者 **		1971	油彩・カンヴァス	23.5	×	32.5
西村盛夫	甘露の雨 マナ9		2002	木	37.0	×	220.0
勅使河原蒼風	わかれ		1963	鉄	120.0	×	33.0
勅使河原蒼風	群れ		1953	鉄	103.0	×	184.0
勅使河原蒼風	ビーナス		1957	木	68.0	×	65.0
勅使河原蒼風	クビ		1962	木	129.5	×	62.5
勅使河原蒼風	クサナギ		1967	銅	252.5	×	64.5
勅使河原蒼風	題不詳		不詳	銅	44.0	×	53.0
勅使河原蒼風	ミコ		1967	銅	96.0	×	49.0
和南城孝志	Archetypus 円のイメージ		1981	大理石	12.0	×	35.0
和南城孝志	Archetypus 空間への旅		1983	ブロンズ	20.0	×	50.0
和南城孝志	Archetypus 空間への旅		1979	ブロンズ	10.0	×	30.0
山口啓介	花の心臓 / 蕊柱		2003	油彩・カンヴァス	270.0	×	181.0
松井冬子	トメス4世 *		2007	鉛筆・紙	36.2	×	44.1
松井冬子	同世代のエジプト人 *		2007	鉛筆・紙	43.7	×	36.7
カンノサカン	ER0101170 *		2007	ウレタン、アクリル・カンヴァス	30.0	×	30
大竹利絵子	へび *		2006	木	31.0	×	21.5 × 17.0
川島秀明	stare *		2008	アクリル・カンヴァス	50.0	×	72.7
日野之彦	パーマ *		2007	鉛筆・ケント紙	103.5	×	72.5
日野之彦	縞の服 *		2008	鉛筆・紙	101.6	×	50.4
会田誠	トラウマンボーイ02 *		2007	色鉛筆、水彩絵具、油性マーカー・紙、パネル	36.5	×	51.5
会田誠&加藤愛	愛ちゃん盆栽(ほおずき) 小料理屋にて *		2008	ラムダプリント	86.8	×	125.5
Chim Pom	イケてる人達みたい02 *		2008	Cプリント、DVD	31.0	×	31.0

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法		
加藤泉	無題 *	2009	油彩・カンヴァス	33.3	×	24.0
町田久美	ひとり *	2003	墨・雲肌麻紙	130.0	×	97.0
森田恒友	漁村図 *	未詳	紙本墨画・軸	94.5	×	90.0
岸浪百草居	画卷(魚など) *	未詳	紙本墨画・軸	24.0	×	625.9
津田青楓	山高水長画卷 *	1937	紙本着色・卷子	30.2	×	538.2
三輪途道	YUUKO *	1996-2004	檜、漆、膠、白土、顔料	153.0	×	48.0 × 25.0
三輪途道	野辺の王様 *	1998	檜、漆、膠、白土、顔料	125.0	×	32.0 × 40.0
三輪途道	温度-H.MIWA- *	1999	檜、漆、膠、白土、顔料	99.0	×	57.0 × 37.0
三輪途道	縄文からの道 *	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	12.0	×	25.0 × 16.0
三輪途道	TOKYO-2000.1.12.Age60- *	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	102.0	×	50.0 × 28.0
三輪途道	猿を待ってた日 *	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	23.0	×	16.5 × 23.0
三輪途道	下仁田ーおじい *	2003	檜、漆、膠、顔料	79.0	×	59.0 × 64.0
三輪途道	下仁田ーおばあ *	2003	檜、漆、膠、顔料	83.0	×	50.0 × 56.0
三輪途道	おじいの宝Ⅱ(金歯の位置違い) *	2003	檜、漆、金箔	3.0	×	7.5 × 5.0
三輪途道	おじいの抜け殻 *	2003	檜、漆、膠、顔料	14.0	×	44.0 × 38.0
三輪途道	猫の抜け道 *	2005	檜、漆、膠、顔料	25.0	×	68.0 × 14.0
三輪途道	発電所のなめくじ *	2005	檜、漆、膠、白土、顔料	4.0	×	6.0 × 14.0
			(5点組)	5.0	×	8.0 × 20.0
				6.0	×	9.0 × 28.0
				13.0	×	10.0 × 18.0
				13.0	×	10.0 × 18.0
三輪途道	父子像 *	2007	檜、漆、膠、顔料	175.0	×	42.0 × 42.0
三輪途道	乳母と私Ⅱ *	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	90.0	×	58.0 × 71.0
三輪途道	父子像Ⅱ *	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	159.0	×	99.0 × 8.0

4. 館蔵作品貸出状況

4-1. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会場・会期
清宮質文	葦	須坂版画美術館	「清宮質文展 静かに燃えるとも しび」	須坂版画美術館 7.15-8.31
	むかしのはなし			
	幼きもの			
	蝶			
	歳月			
	北辺の小屋			
	暗い夕日(暗い夕日1)			
	冬(暗い夕日2)			
	トンネルの出口(暗い夕日3)			
	虜囚の窓(暗い夕日4)			
	夕方の静物(暗い夕日5)			
	窓のカンテラ(暗い夕日6)			
	入日(暗い夕日7)			
	町外れ(暗い夕日8)			
	夕日の静物(暗い夕日9)			
	壇の中の魚(暗い夕日10)			
	深夜の蠟燭			
	星占い ～去りゆく凶星～			
	秋の夕日			
	作品			
	黑夜の鳥			
	われむかしの日いにしえの年をおもえり			
	夢の中へ			
	夕べの道			
	失題(モノタイプ)			
	失題(モノタイプ)			
	なんじの革囊にわが涙を			
	緑の太陽			
	冬の夕(絶筆)			
	未完(絶筆)			

4-2. 館蔵作品移動状況

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会場・会期
須田一政	鎌倉明月院・1975年6月21日	群馬県立近代美術館	コレクション展示	群馬県立近代美術館
	「風姿花伝」より		「現代の写真 うつすこと・うつさ れたもの」	10.26-12.19
	岐阜郡上八幡・1975年8月11日			
	「風姿花伝」より			
	東京神田・1975年			
	「風姿花伝」より			
	神奈川三浦三崎・1975年6月2日			
	「風姿花伝」より			

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会場・会期
松江泰治	山形銀山温泉・1976年8月28日			
	「風姿花伝」より			
	山形尾花沢、花笠祭・1976年8月27日			
	「風姿花伝」より			
	富山砺波・1976年9月17日			
	「風姿花伝」より			
	佐野・9月26日			
	「風姿花伝」より			
	富山八尾・1976年9月3日			
	「風姿花伝」より			
	茨城大洗・1977年7月24日			
	「風姿花伝」より			
	YEMEN 1991#15			
	CANARY 1993#35			
	CHILE 1995#62			
	NEW ZEALAND 1996#22			
	EGYPT 1997#12			
	UTAH 1997#46			
	MOROCCO 1997#9			
安田千絵	KOREA 1999#5			
	TEXAS 1999#61			
	ALTIPLANO 2000#19			
	MONTANA 2000#93			
	BALKAN 2001#21			
	NEW BRUNSWICK 2002#53			
	MISSOURI 2002#63			
	Untitled			
	Untitled			
	Untitled			
	Untitled			
	Untitled			
	Untitled			
	Untitled			
	Untitled			
	Untitled			
	Untitled			
	Untitled			

5. 保存・修復

作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
バリー・フラナガン	鐘の上の野兎	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング
フランソワ・ラフランカ	リネア	エンボス・石、紙	版画	汚れ、埃の除去、黄変部分の洗浄、台紙・裏板の交換
	トスカーナ・プロヴァンス	エンボス・石、紙	版画	汚れ、埃の除去、黄変部分の洗浄、台紙・裏板の交換
	メレーズ	エンボス・石、紙	版画	汚れ、埃の除去、黄変部分の洗浄、台紙・裏板の交換
	コルバーズ	エンボス・石、紙	版画	汚れ、埃の除去、黄変部分の洗浄、台紙・裏板の交換
	ソラダ	エンボス・石、紙	版画	汚れ、埃の除去、黄変部分の洗浄、台紙・裏板の交換

B 図書資料その他

平成22年度 収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	52	95	6	0	1	0	154
寄贈	184	160	597	107	116	2	1,166
計	236	255	603	107	117	2	1,320